はじめにお読みください

DVD-ROM 取扱説明書

DVDP-i8A

株式会社 アイ・オー・データ機器

95485-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
14) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows,Windows NTは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

■警告及び注意事項

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）　「発火注意」を表す絵表示

⃠

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）　「分解禁止」を表す絵表示

●

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）　「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告


厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。


電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。


分解禁止

本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。


発火注意

本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。


厳守

本製品の取り付け、取り外しの際は、必ず本書で、取り付け取り外し方法をご確認ください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因になります。


禁止

本体を濡らしたり、お風呂場では使用しないでください。

火災・感電の原因になります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。


禁止

内部のレーザー光線を直視すると視覚障害を起こす恐れがあります。内部をのぞきこまないでください。



厳守

AC アダプタについては以下にご注意ください。

- ●必ず添付のＡＣアダプタを使用してください。
- ●電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- ●電源コードをＡＣコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因となることがあります。
- ●電源コードの電源プラグは、濡れた手でＡＣコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因となります。
- ●電源コードがＡＣコンセントに接続されているときには濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。
- ●保温、保湿性の高いものの近くで使用しないでください。（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）

⚠ 注意


注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。


禁止

本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

《使用時/保管時の制限》

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所

《使用時のみの制限》

- ●保温、保湿性の高いものの近く（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
- ●製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがるような場所


禁止

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない


禁止

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

禁止

本体内部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

故障の原因となります。

厳守

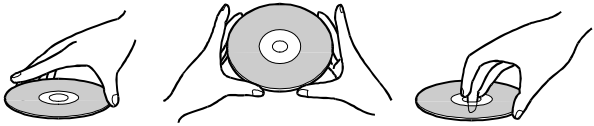
本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。

- ●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- ●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

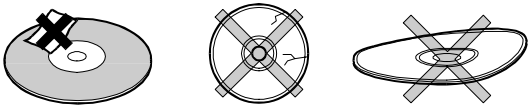
厳守

ディスクの取り扱いについては以下をお守りください。

- ●ディスクを直接持つときは光沢のある場所に触らないようにしてください。両端をはさむようにして持つか、中央の穴と端をはさんでください。



- ●正しい再生をするためと、振動や回転音が大きくなるなどのトラブルを防ぐため、ディスクに紙やシールなどを貼らないでください。
- ●ひびの入ったディスクや反ってしまったディスクは絶対に使用しないでください。また、割れたディスクをテープ類や接着剤で貼りあわせて使用しないでください。高速回転しますので、欠陥のあるディスクは危険です。



- ●ディスクに異物（CD-R ディスクの仕切りなど）が付いていないことを十分ご確認の上、ドライブに挿入してください。異物が付いたまま挿入すると、故障の原因になります。

使用上のご注意

●使用する際の注意

■ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクタを持って抜いてください。

■レンズには触れないでください。音とびやデータの書き込み・読み込み時の不具合の原因になります。

●本製品のPCカード(CBIDEⅡA)についての注意

本製品のPCカード(CBIDEⅡA)は、本製品専用です。
CBIDEⅡAは電源供給(Power Supply)タイプのPCカードのため、別売品や弊社「CBIDEⅡ」や「CI-iCN」とは異なります。



CBIDEⅡAを他の製品（弊社製ポータブルシリーズ含む）に使用すると使用した機器を破損する恐れがありますので、絶対に使用しないでください。

●本製品のPCカードと他のPCカードを同時に使用する場合の注意

・本製品のPCカードを「CardBusモード」に設定した場合

・他のCardBus PCカードと同時に使用できない場合があります。
⇒ この場合は、本製品のPCカードを「16bitモード」に変更するか、本製品のPCカードと他のCardBus PCカードを同時に使用しないでください。

・16bit PCカードと同時に挿入した状態でOSを起動すると、OSが起動途中で止まってしまう場合があります。
⇒ この場合は、本製品のみを挿入した状態でパソコンを起動し、他の16bit PCカードはOS起動後に挿入してください。

・本製品のPCカードを「16bitモード」に設定した場合

CardBus PCカードと同時に挿入した状態でOSを起動すると、OSが起動途中で止まってしまう場合があります。
⇒ この場合は、本製品のみを挿入した状態でパソコンを起動し、他のCardBus PCカードはOS起動後に挿入してください。

●地域コード（リージョンコード）について

本製品は、日本の地域コードである２に設定されています。
ソフトウェアDVDプレーヤーなどで他の地域コードに設定した場合、弊社では保証いたしかねます。あらかじめご了承ください。

●DVDビデオの再生についての注意

本製品で、DVDビデオを再生する場合は、必ず付属のPCカードのモードを「CardBusモード」にして使用してください。「16bitモード」に設定してDVDビデオを再生するとコマ落ちが発生します。
（Windows NT 4.0はCardBusモードで使用できないため、DVDビデオの再生はできません。あらかじめご了承ください。）

●本製品の修理は弊社修理係にご依頼ください。

詳細は99ページの【修理について】をご覧ください。



【リージョンコード】
DVDビデオの再生可能地域を限定するために決められた地域別コードです。世界を6つの地域に分割し、日本は“２”のリージョンコードが割り当てられています。DVD-ROMドライブ、DVDビデオディスク、DVD再生ソフトのリージョンコードが一致しないと再生できない仕様になっています。

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

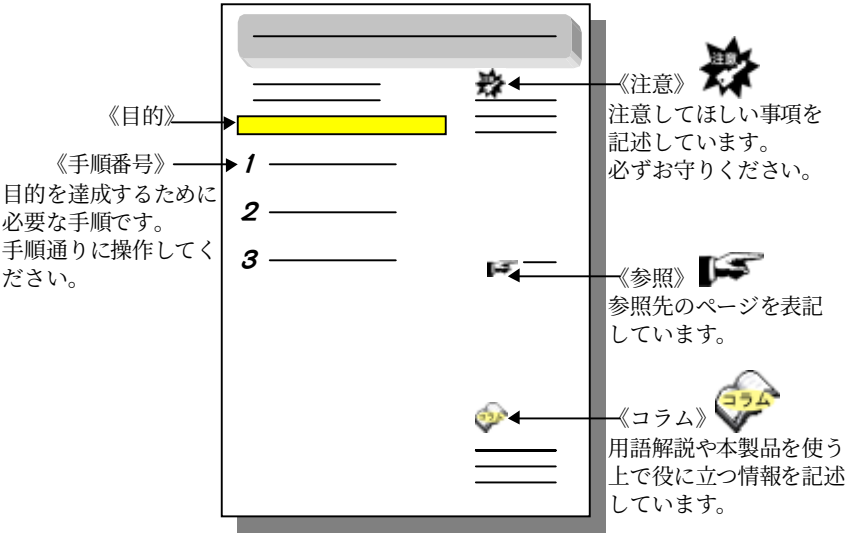
本製品はPCカード接続の外付けDVD-ROMドライブです。
本製品を使えば、CD-ROMはもちろん、DVD-ROMも読み込むことができます。
また、添付の「PowerDVD VR-X」を使えば、DVDビデオを見ることもできます。

● 呼び方

本製品	DVD-ROMドライブを含む添付品すべての総称
ディスク	DVD-ROMディスク、CD-ROMディスクの総称
FD	フロッピーディスク
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating Systemおよび Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating Systemの総称
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows Me/98/95	Windows Me、Windows 98、Windows 95の総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Version 4.0 Workstation Operating System
Windows	Windows Me/98、Windows 2000、Windows NT 4.0の総称

● 本書の読み方

ページの構成は以下のようになります。



もくじ

必ずお守りください…… i
はじめに …… viii
もくじ …… x
DVD-ROMドライブを使うまで…… xii

使う前に …… 1
箱の中の確認 …… 2
各部のなまえ …… 4
動作環境の確認 …… 7
使うモードを決める…… 9

Windows Me/98/95で使う …… 13
1．インストールする……14
2．基本操作 ……21
3．使ってみよう……29

Windows 2000で使う …… 31
1．インストールする……32
2．基本操作 ……40
3．使ってみよう……47

Windows NT 4.0で使う …… 49
1．インストールする……50
2．基本操作 ……55
3．使ってみよう……59

付録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６１

困った時には ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６０
ACアダプタ無しで使う ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８５
ドライバを削除する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８９
仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９４

お問い合わせ先 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９６

PowerDVD VR-X ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９６
DVD-ROMドライブ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９７
サポートソフトのバージョンアップ ・・・・・・・・・・・・９８
修理について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９９

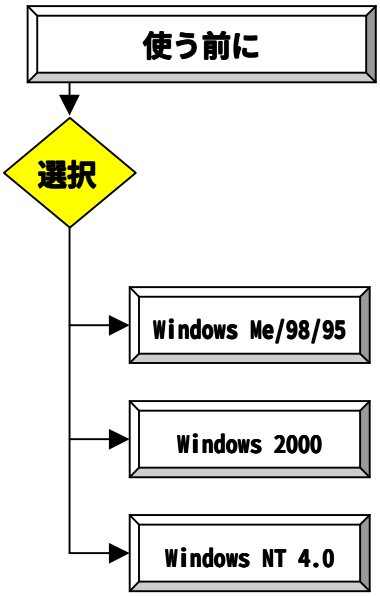


コラムのもくじ

リージョンコード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

DVD-ROMドライブを使うまで

DVD-ROMドライブが使えるようになるまでの手順を説明します。
以下の流れにしたがって、DVD-ROMドライブを使う環境をつくりましょう。



はじめにすること
・内容物の確認
・各部の機能の確認
・動作環境の確認
・使うモードを決める

1ページ

DVD-ROMドライブを使えるようにする
OSにより、操作が異なります。
必要なページのみご覧ください。

Windows Me/98/95 . . . . . 13ページ

Windows 2000 . . . . . 31ページ

Windows NT 4.0 . . . . . 49ページ

使う前に

ここでは、本製品を使う前の作業について、順を追って説明しています。

箱の中の確認

内容物を確認します。

2ページ

▼

各部のなまえ

各部のなまえを確認します。

4ページ

▼

動作環境の確認

本製品を使うときに必要なパソコンの種類です。

7ページ

▼

使うモードを決める

接続する前に、添付のPCカードのモードを決めます。

9ページ

箱の中の確認

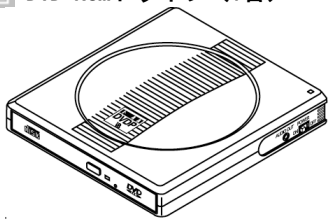
ご使用の前に以下のものがそろっていることを □ にチェックをつけながらご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

注意

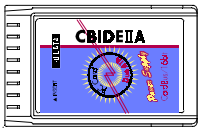
・箱・梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。
・イラストは若干異なる場合があります。

●内容物

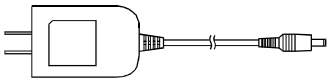
□ **DVD-ROMドライブ（1台）**



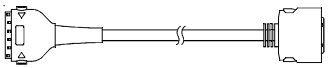
□ **PCカード（1枚）**
［CBIDEⅡA］



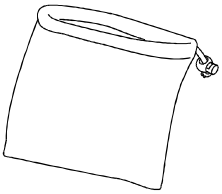
□ **ACアダプタ（1本）**



□ **専用接続ケーブル（1本）**



□ **ソフトキャリーケース（1つ）**



●添付ソフトウェア

☐ **DVDビデオスターターキット（CD-ROM：1枚）**



▼内容

・DVDビデオ再生ソフト
（PowerDVD VR-X）

・CBIDEⅡシリーズサポートソフト
（PCカードのドライバソフト）

☐ **CBIDEⅡシリーズサポートソフト（FD：1枚）**



▼内容

PCカードのドライバソフト
「DVDビデオスターターキット」CD-ROMに入っているものと同じです。インストール時にCD-ROMドライブが使えない場合にご使用ください。

●その他

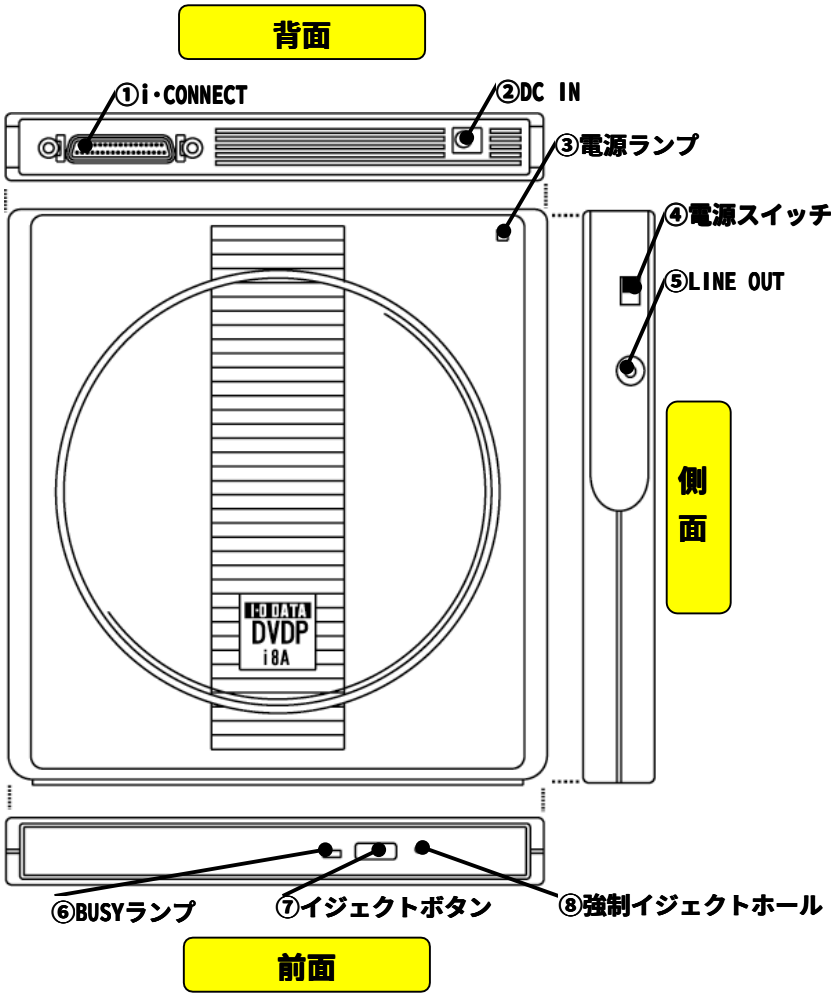
- ☑ **DVD-ROM取扱説明書（本書）**
- ☐ **クイックリファレンス『DVDで映画を観よう！』（1冊）**
- ☐ **PowerDVD VR-Xクイックガイド（1冊）**
- ☐ **Windows再セットアップガイド（1冊）**
- ☐ **ハードウェア保証書（1枚）**
- ☐ **ユーザー登録カード（1枚）**
- ☐ **ハードウェアシリアルNo.シール（1枚）**
  ※「ハードウェア保証書」と「ユーザー登録カード」に貼ってください。

ユーザー登録は済ませましたか？
「ユーザー登録カード」に登録方法が記述されています。
登録してから、次ページへ進みましょう！

各部のなまえ

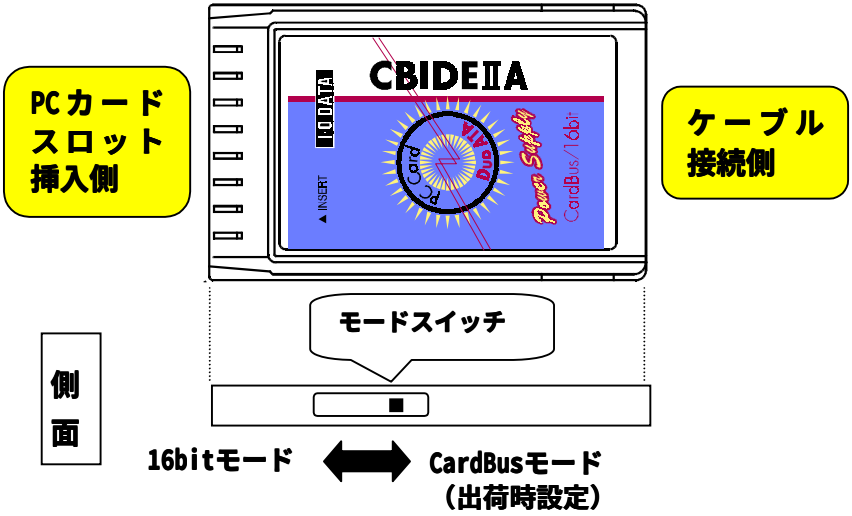
各部の名称および機能の確認を行います。

●DVD-ROMドライブ



名称	説明
①i･CONNECT	添付の接続ケーブルでPCカードと接続します。
②DC IN	添付のACアダプタで家庭用コンセントに接続します。
③電源ランプ	本製品の④電源スイッチON時、ACアダプタを接続している場合は緑色に、ACアダプタを接続していない場合は、オレンジ色に点灯します。 電源OFF時は消灯します。
④電源スイッチ	本製品の電源をON(左)/OFF(右)します。
⑤LINE OUT	市販のオーディオケーブルでパソコン本体のLINE INに接続するか、アンプ付きスピーカーに接続します。
⑥BUSYランプ	ディスクにアクセス時に点滅します。
⑦イジェクトボタン	押すとトレイが出ます。
⑧強制イジェクトホール	イジェクトボタンを押してもトレイが出てこなくなった時に使用します。 （【付録 困ったときには】 64ページ）

●PCカード


PCカード
スロット
挿入側
CBIDEIIA
I-O DATA
▲ INSERT
CardBus/16bit
ケーブル
接続側
モードスイッチ
側
面
16bitモード
CardBusモード
（出荷時設定）

動作環境の確認

本製品をお使いになるためには、お使いのパソコンが以下の機種やOSである必要があります。対応していることをご確認ください。

● 対応機種・OS

搭載CPU Pentium 100MHz以上の下記の機種です。
（インストールする時に、本製品以外のCD-ROMドライブまたはFDドライブが必要です。）

対応機種	対応OS（日本語版に限る）
NEC PC98-NXシリーズ **DOS/Vマシン※** **弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っております。**	Windows Me Windows 98 Second Edition Windows 98 Windows 95（OSR2以降） Windows 2000 Windows NT 4.0(ServicePack 4以降)

※ IBM製 Aptiva E21/31/17/27/47シリーズを除く

●DVDビデオ再生ソフト「PowerDVD VR-X」動作環境

別冊の「PowerDVD VR-Xクイックガイド」ご覧ください。

注意

・以下の場合DVDビデオの再生はできません。（コマ落ちが発生するため）
①PCカード(CBIDE IIA)を16bitモードで使用するとき
②Windows NT 4.0で使用するとき（16bitモードのみ対応のため）
・「PowerDVD VR-X」はサービス品です。弊社ではサポート致しかねます。
「PowerDVD VR-X」のお問い合わせは96ページをご覧ください。

●PCカードに接続できる周辺機器

本製品のPCカード（CBIDEⅡA）は、本製品専用です。他の周辺機器には使用できません。
本製品のPCカード（CBIDEⅡA）は、電源供給（Power Supply）タイプのPCカードのため、別売品や弊社「CBIDEⅡ」や「CI-iCN」とは異なります。



CBIDEⅡAを本製品以外に使用すると破損する恐れがあります。絶対に使用しないでください。

●対応ディスク（読み込みのみ）

ディスク	備考
DVD-RAM※1※2	片面（Single Sided TypeⅡ）2.6Gバイト、4.7Gバイト（本製品をACアダプタなしで使う場合は、読み込み不可）
DVD-ROM	—
DVD-R	3.95Gバイト、4.7Gバイト
DVD-RW※2	Ver1.0、1.1
DVDビデオ	添付の「PowerDVD VR-X」をお使いください。
CD-ROM	—
CD-R	—
CD-RW	—
ビデオCD CD-DA（音楽CD）	添付の「PowerDVD VR-X」をお使いください。
Photo CD	対応したソフトウェアが別途必要です。
CD TEXT	—
CD Extra	—

※1 対応OSは、Windows Me、Windows 98（Second Edition含む）、Windows 2000です。
※2 UDF1.02、1.5フォーマットされたディスクのみ読み込み可能です。
ただし、UDF2.0でフォーマットされたディスクは、VideoRecording形式のみPowerDVD VR-Xで再生可能です。（データは読めません。FAT、FAT32でフォーマットされたディスクは読めません。）

使うモードを決める

ここでは、本製品添付のPCカードのモードを、環境や用途により設定します。

以下の手順にしたがって、使うモードを決め、設定してください。

●モードを決める

以下の手順にしたがって、使うモードを決めましょう。

1 ACアダプタを使用できますか？

ACアダプタを使用するための電源がない

⇒ 16bitモードでのみ使用できます。11ページをご覧になり、16bitモードに設定してください。

ACアダプタを使用するための電源がある

⇒ ***2*** へお進みください。

2 Windows NT 4.0のパソコンで使いますか？

Windows NT 4.0で使う

⇒ 16bitモードでのみ使用できます。11ページをご覧になり、16bitモードに設定してください。

Windows NT 4.0以外のOSで使う

⇒ ***3*** へお進みください。

3 お使いのパソコンはCardBus搭載機種 ※ ですか？

※次ページをご覧になり、お使いのパソコンがCardBus搭載かをご確認ください。

CardBus搭載機種でない

⇒ 16bitモードでのみ使用できます。11ページをご覧になり、16bitモードに設定してください。

CardBus搭載機種である

⇒ CradBusモードで使用できます。モードは出荷時設定のまま変更する必要はありません。12ページへお進みください。

CardBus搭載の確認方法

以下の手順にてご確認ください。

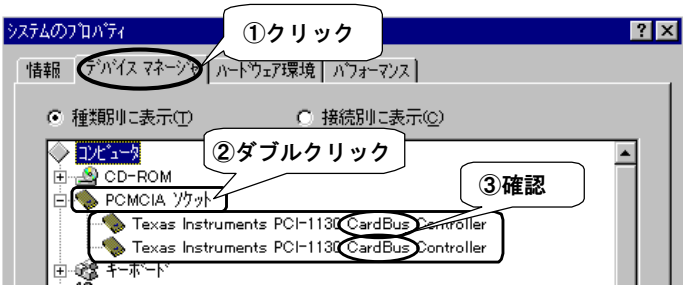
①[マイコンピュータ]アイコンを右クリックし、表示されたメニューから[プロパティ]をクリックします。

②[CardBus]の記述を確認します。

≪Windows Me/98/95の場合≫

[デバイスマネージャ]タブをクリックし、[PCMCIAソケット]をダブルクリックします。[CardBus]の記述があれば、 CardBus搭載機種です。

▼表示例



≪Windows 2000の場合≫

[ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]ボタンをクリックし、[PCMCIAアダプタ]をダブルクリックします。[CardBus]の記述があれば、CardBus搭載機種です。

▼表示例



●モードを変更する

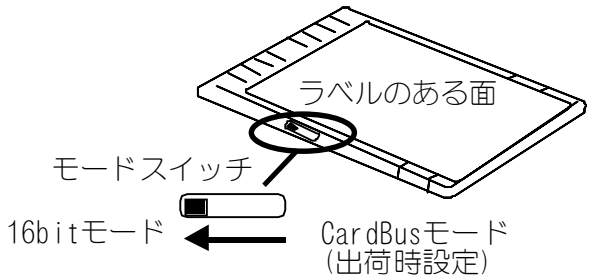
本製品のPCカードは、お買い上げ時CardBusモードに設定されています。

使うモードがCardBusモードの場合は、そのままご使用ください。

使うモードが16bitモードの場合は以下のように設定してください。

≪16bitモードへ変更する≫

PCカード側面にあるスイッチを以下のように変更します。



設定後、次ページへお進みください。

コラム

CardBusモード

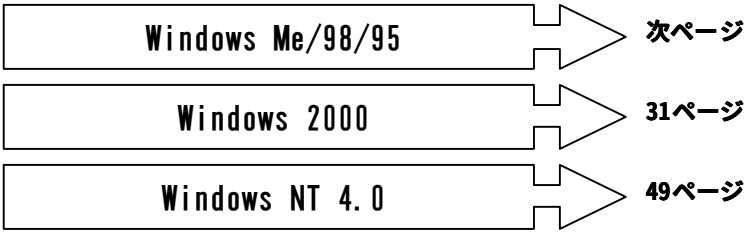
バスマスタ転送方式で32bitデータ転送を行います。16bitモードよりも高速です。ただし、パソコンによっては、CardBusモードに設定できない場合があります。Windows NT 4.0はCardBusモードで動作できません。また、他のOSでもACアダプタを使用しない場合はCardBusモードで動作できません。

16bitモード

UltraSMIT転送方式で16bitデータ転送を行います。CardBusモードよりも低速です。CardBusモードに対応していないパソコンをお使いの場合に設定してください。16bitモードでは、DVDビデオの再生はできません。

●セットアップしよう

セットアップ方法はOSにより異なります。お使いのOSに合わせて必要なページのみをご覧ください。



Windows Me/98/95で使う

この章では、Windows Me/98/95で本製品をパソコンへ接続する方法について、順を追って説明しています。

1．インストールする

本製品を、お使いのパソコンで使えるようにするための作業をして、つなぎます。

14ページ

▼

2．基本操作

ディスクの入れ方/出し方、PCカードの入れ方/出し方をおぼえてください。

21ページ

▼

3．使ってみよう

本製品を使って、DVDビデオを見たり、音楽CDを聞いたりします。

29ページ

1．インストールする

ここでは、本製品をお使いのパソコンで使えるようにするための作業をします。

インストールする

1 **Windows Me/98/95を起動します。**

2 **「DVDビデオスターターキット」CD-ROMを本製品以外のCD-ROMドライブにセットします。**

3 **自動で画面が表示されますので、[CBIDEⅡシリーズ]をクリックします。**
自動で表示されない場合は、CD-ROMドライブの[Autorun]をダブルクリックしてください。



注意

・PCカードのモードを設定しましたか？
⇒していない場合は、設定を確認してください。
9ページ

・ここでは、まだPCカードをパソコンに挿入しないでください。

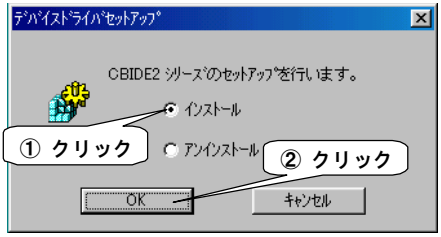
注意

CD-ROMドライブが無い場合は…
手順**2**で「CBIDEⅡシリーズサポートソフト」FDをセットします。
手順**3**で[マイコンピュータ]→[3.5インチFD]→[Win9x]→[Ddsetup]を順にダブルクリックします。


Ddsetup

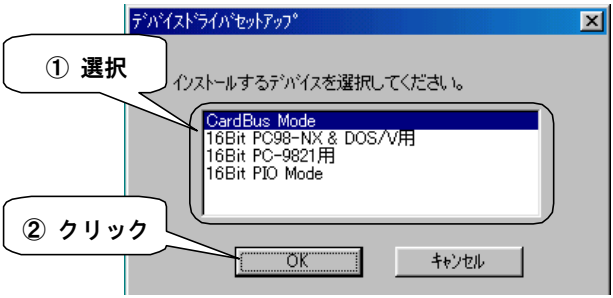
③次ページへお進みください。

4 **「インストール」を選択し、**
［OK］ボタンをクリックします。



5 **インストールするデバイスを選択し、**
［OK］ボタンをクリックします。
【3．使うモードを決める】（9ページ）で設定したPCカードのモードと一致したデバイスを選択してください。

PCカードのモード	選択するデバイス
CardBusモード	[CardBus Mode]
16bitモード	[16Bit PC98-NX & DOS/V用]



注意

はじめてインストールする場合は、[16Bit PIO Mode]を選択する必要はありません。[16Bit PIO Mode]は左のモードで動作しない場合に選択します。
また、[16Bit PC-9821用]は本製品では使用しません。

6 **［OK］ボタンをクリックします。**

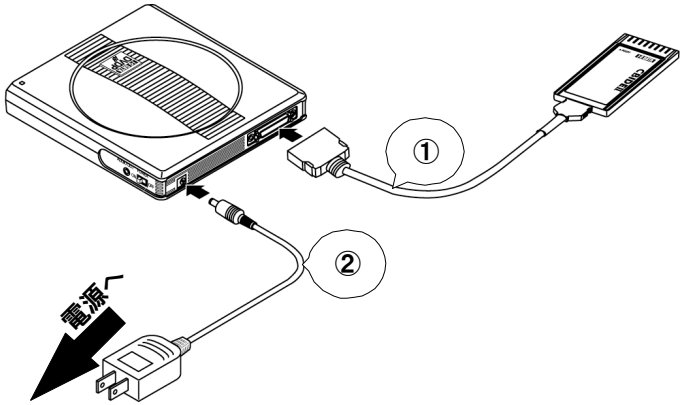
インストールが終了したら、セットしたディスクを抜きましょう。



7 **本製品にPCカードとACアダプタを接続します。**

①本製品とPCカードを添付のケーブルで接続します。

②本製品にACアダプタを接続し、電源コンセントに接続します。

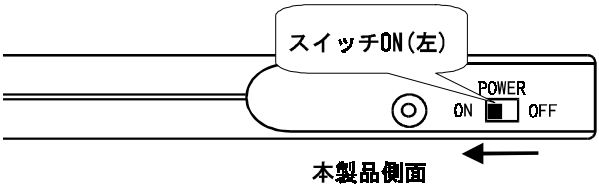


注意

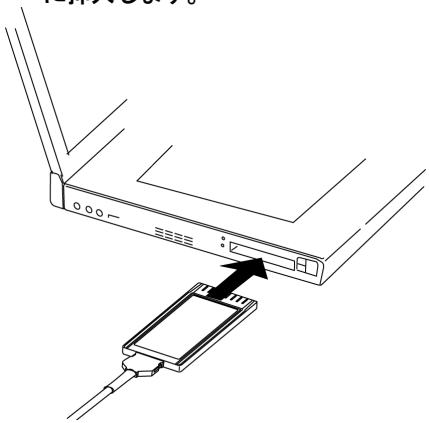
ACアダプタを使用しない場合、②の操作は必要ありません。【ACアダプタ無しで使う】をご覧ください。

８５ページ

8 **本製品の電源を入れます。**



9 **PCカードをパソコンのPCカードスロットに挿入します。**



10 **はじめて本製品のPCカードを挿入した場合は、「新しいハードウェア」などが表示され、しばらくすると画面は消えます。**

以上で本製品は使用できるようになりました。
次回からインストールする必要はありません。
次に正常にインストールが終了したことを確認するため、次ページへお進みください。

注意

・「新しいハードウェア」などが表示されたまま消えない場合

①[キャンセル]ボタンをクリックします。

②インストールしたデバイスと、PCカードのモードを合わせてください。

9ページ

③デバイスを変える場合は、削除した後、インストールしてください。

【ドライバを削除する】

89ページ

インストール後の確認をする

●インストールしたサポートソフトを確認する

1 **「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」画面を表示させます。**

①［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］をクリックします。

②コントロールパネルの［PCカード］アイコンをダブルクリックします。



注意

本製品をパソコンに接続した状態で確認してください。

注意

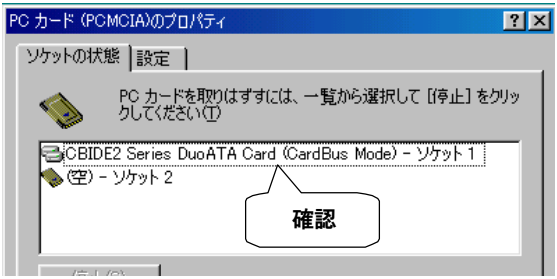
PCカードウィザードが起動した場合

①画面の指示にしたがって実行します。

②再度、[PCカード]アイコンをダブルクリックします。

2 **「CBIDE2 Series DuoATA Card(xxxxxx)」と表示されていることを確認します。**

(xxxxxx)にはPCカードが使用しているモードが入ります。



3 **[OK] ボタンをクリックします。**

「PCカードのプロパティ」画面を閉じます。

次ページへお進みください。

注意

・「（空）」と表示される

対処①：PCカードを抜いてしっかり差し込みます。

対処②：複数のスロットがある場合は、他のスロットに差し込みます。

対処③：パソコン本体が16bit環境である場合は、「16bitモード」に変更してください。

9ページ

対処④：【Windows 95のみ】IBM製 ThinkPadでお使いの場合は、【PCカードのプロパティで「(空)-ソケット1(2)」と表示される】を参照してください。

７１ページ

・名前が正しく表示されない

ドライバを削除した後、再度インストールしてください。

【ドライバを削除する】

８９ページ

●接続を確認する

1 ［マイコンピュータ］をダブルクリックします。

2 ［CD-ROMドライブ］アイコンがあることを確認します。



正常に接続されていることを確認できましたら、【3．基本操作】(21ページ)へお進みください。

アイコンがない

⇒【「マイコンピュータ」の中に「CD-ROM」アイコンがない】をご覧ください。

☞８１ページ

本製品のアイコンが分からない

①本製品にディスクをセットします。

☞２１ページ

②［CD-ROMドライブ］アイコンをダブルクリックして、そのディスクの内容が表示されたアイコンが本製品です。

Windows 95をお使いの場合

⇒【PCカードのプロパティ表示がおかしい】をご覧ください。

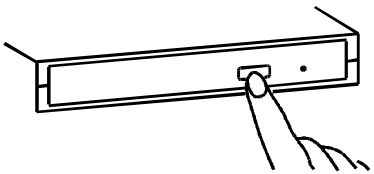
☞８０ページ

２．基本操作

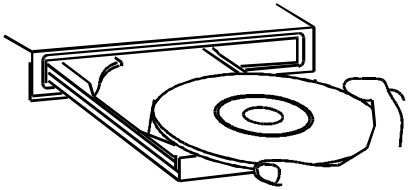
本製品を使用する上でおぼえてほしいことを説明します。

ディスクを入れる/出す

1　イジェクトボタンを押すと、トレイが２cm程出てきますので、ゆっくりと引き出します。



2　ディスクを入れる、または出します。



注意

無理に引き出すとDVD-ROMドライブを損傷する恐れがあります。トレイの引き出しは慎重に行ってください。

注意

トレイが出てこない！

⇒【困った時には】
をご覧ください。

６４ページ

注意

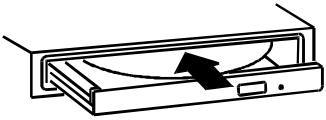
●ディスクを入れるとき

文字などが印刷されているディスク面を上にしてディスクをセットします。両面タイプの場合は再生する方を下面にセットします。トレイの中心にある軸に、「カチッ」と音がするまでしっかりとディスクをはめ込んでください。

●ディスクを出すとき

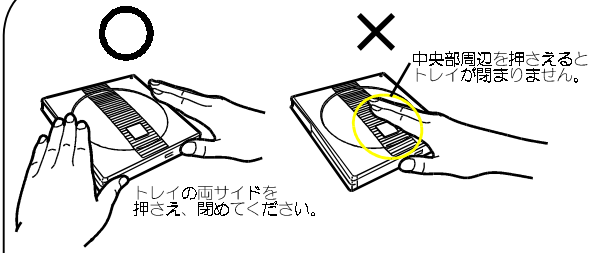
ディスクの回転が完全に止まっていることを確認してからディスクを取り出します。

3 トレイを元に戻します。



注意

イジェクトボタンに触れないようにトレイ前面を押し、「カチッ」と音がするまでトレイを指で押し込みます。トレイから手を離してもトレイが出てこないことを確認してください。



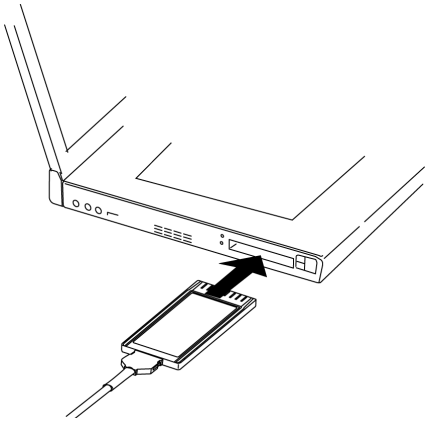
注意

トレイを閉める際は、○のように両サイドを押さえながら閉じてください。
×のように中央部周辺（特に帯状の部分）に力を加えるとトレイが閉まりません。

PCカードを入れる

DVD-ROMドライブに接続したPCカードをパソコンのPCカードスロットに挿入します。

パソコンの電源を入れる前、または入れた後でも挿入できます。



注意

DVD-ROMドライブの電源を入れてから、PCカードを挿入してください。

PCカードを出す

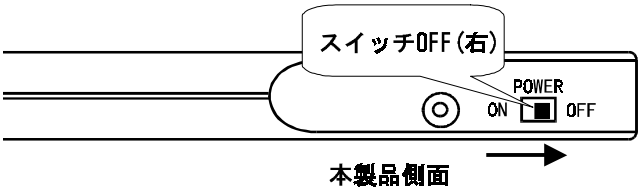
●パソコンの電源が切れた状態のとき

1 本製品のBUSYランプが消えていることを確認します。

2 本製品からディスクを取り出します。

3 PCカードをパソコンから取り外します。

4 本製品の電源を切ります。



●パソコンの電源が入った状態のとき

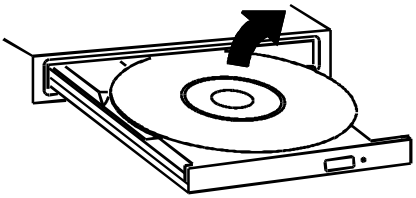
Windows Me/98/95を使用中でもPCカードを出すことができます。必ず終了手順を行ってください。【終了手順-その１】または【終了手順-その２】どちらの方法でも取り出すことができます。

注意

終了手順を行わずにPCカードを取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。

終了手順ーその１

1 イジェクトボタンを押して、ディスクを取り出します。



注意

ディスクの回転が完全に止まっていることを確認してからディスクを取り出します。

2 タスクバー上からCBIDE2の中止を選択します。

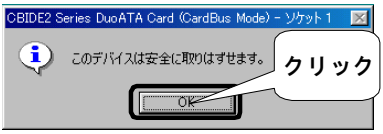
タスクバー上の(PCカード)アイコンをクリックします。表示された「CBIDE2 Series …の中止」をクリックします。

▼（※）のアイコンの場合は、表示が異なります。



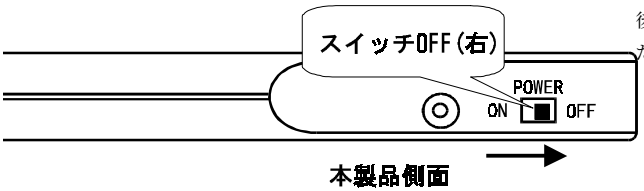
3 **［OK］ボタンをクリックします。**

手順**2** 図内「※」のアイコンの場合は、表示が異なりますが、手順は同じです。



4 **PCカードをPCカードスロットから取り外します。**

5 **本製品の電源を切ります。**



注意

「取り外しができません。」という旨のメッセージが表示された

対処①：使用中のアプリケーションをすべて終了してください。

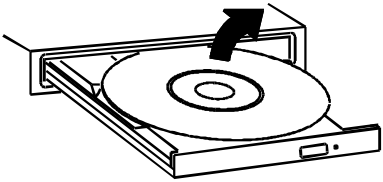
対処②：Windowsを終了して、から取り外してください。

注意

必ず、PCカードを取り出した後に本製品の電源を切ってください。

終了手順ーその２

1 **イジェクトボタンを押して、ディスクを取り出します。**



注意

ディスクの回転が完全に止まっていることを確認してからディスクを取り出します。

2 **「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」画面を表示させます。**

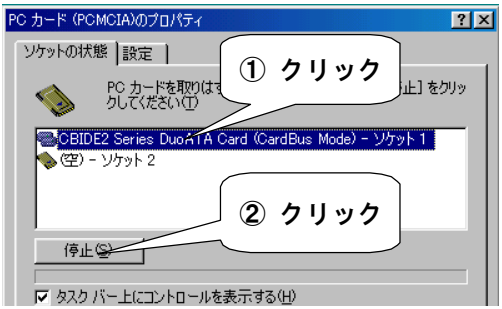
［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内にある［PCカード］アイコンをダブルクリックします。



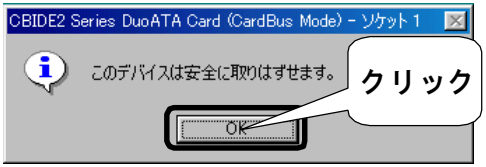
3 **[PCカード(PCMCIA)のプロパティ]画面上からCBIDE2の中止を選択します。**

①「CBIDE2 Series…」をクリックします。

②［停止］（または［終了］）ボタンをクリックします。

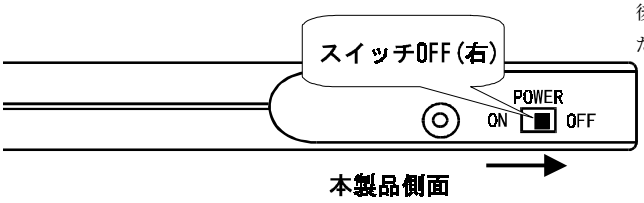


4 **［OK］ボタンをクリックします。**



5 **PCカードをPCカードスロットから取り外します。**

6 **本製品の電源を切ります。**



注意

「取り外しができません。」という旨のメッセージが表示された

対処①：使用中のアプリケーションをすべて終了してください。

対処②：Windowsを終了して、から取り外してください。

注意

必ず、PCカードを取り出した後に本製品の電源を切ってください。

3．使ってみよう

DVDビデオを見る

DVDビデオを見るには、添付の「PowerDVD VR-X」などのDVDビデオ再生ソフトが必要です。
「PowerDVD VR-X」のインストール方法や使用方法については、別冊の「PowerDVD VR-Xクイックガイド」をご覧ください。
ただし、本製品のPCカードはCardBusモード時のみ再生できます。

▼I-O DATAオリジナル操作パネル



注意

16bitモードでは、DVDビデオの再生はできません。コマ落ちが発生します。

注意

PowerDVD VR-Xを使用する際のご注意

・本製品のリージョンコードは、出荷時状態で“２”に設定されています。
リージョンコードを変更した場合は、保証致しかねます。
・本製品添付のPowerDVD VR-Xはドルビーヘッドホンに対応しておりません。
・PowerDVD VR-Xに関しては、サイバーリンク㈱にお問い合わせください。

☞９６ページ

音楽CDを聞く

方法①デジタルオーディオ機能を使用します。（デジタル再生）

詳しくは、右のコラムをご覧ください。

方法②ヘッドホンやスピーカーなどを接続します。（アナログ再生）

環境に応じて接続してください。

① 本製品側面のLINE OUT端子をサウンドボード（CD IN）やパソコン本体のオーディオコネクタまたはステレオアンプに接続します。

② パソコンに装着したサウンドボードから再生する場合は、本製品側面のLINE OUT端子と、サウンドボードのCD IN(またはLINE IN)を市販のオーディオケーブルで接続してください。

※ヘッドホン、スピーカー、オーディオケーブルは本製品には付属しておりません。別途、お買い求めください。

お使いの環境に合った方法でお聞きください。



【デジタルオーディオ機能の設定】
☞６６ページ



音楽CDが聞けない！
⇒【困った時には】をご覧ください。
☞６５ページ

Windows 2000で使う

この章では、Windows 2000で本製品をパソコンへ接続する方法について、順を追って説明しています。

1．インストールする

本製品を、お使いのパソコンで使えるようにするための作業をします。

32ページ

▼

2．基本操作

ディスクの入れ方/出し方、PCカードの入れ方/出し方をおぼえてください。

40ページ

▼

3．使ってみよう

本製品でDVDビデオを見たり、音楽CDを聞いたりします。

47ページ

1．インストールする

ここでは、本製品をお使いのパソコンで使用できるようにするため、サポートソフトをインストールします。

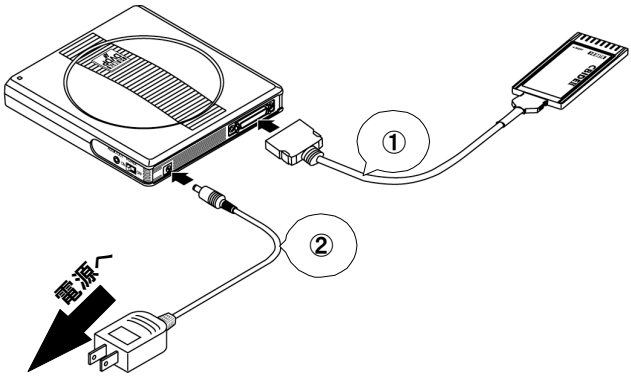
インストールする

1 Windows 2000を起動します。

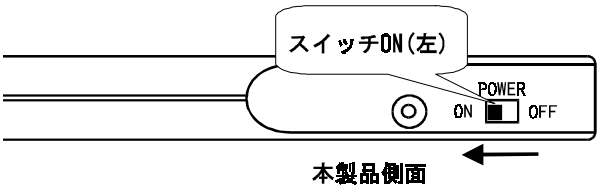
2 本製品にPCカードとACアダプタを接続します。

①本製品とPCカードを添付のケーブルで接続します。

②本製品にACアダプタを接続し、電源コンセントに接続します。



3 本製品の電源を入れます。



注意

・PCカードのモードを設定しましたか？

⇒していない場合は、設定を確認してください。

９ページ

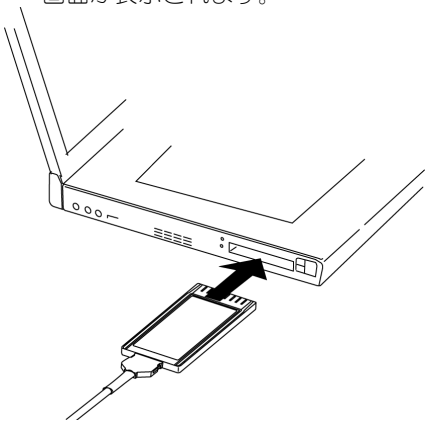
注意

ACアダプタを使用しない場合、②の操作は必要ありません。【ACアダプタ無しで使う】をご覧ください。

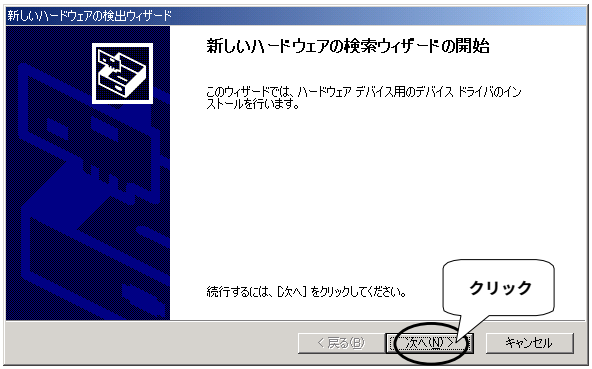
８５ページ

4 **PCカードをパソコンのPCカードスロットに挿入します。**

画面が表示されます。



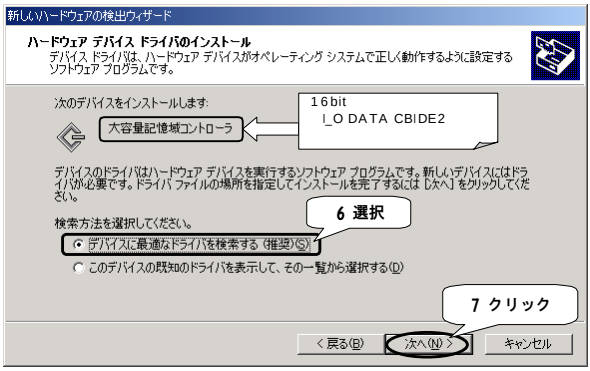
5 **［次へ］ボタンをクリックします。**



6 「デバイスに最適なドライバを検索する」を選択します。

7 ［次へ］ボタンをクリックします。

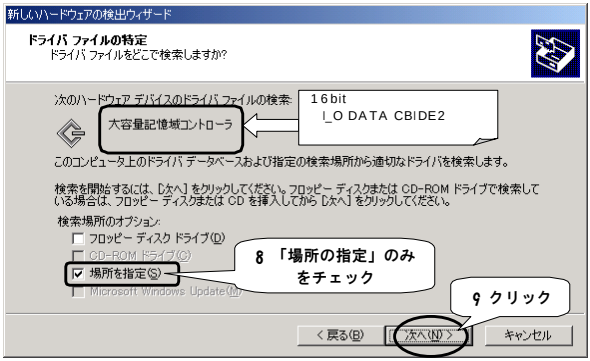
▼ **CardBus**



8 「場所を指定」のみにチェックを付け、他のチェックを外します。

9 ［次へ］ボタンをクリックします。

▼ **CardBus**



10 **「DVDビデオスターターキット」CD-ROMを本製品以外のCD-ROMドライブにセットします。**

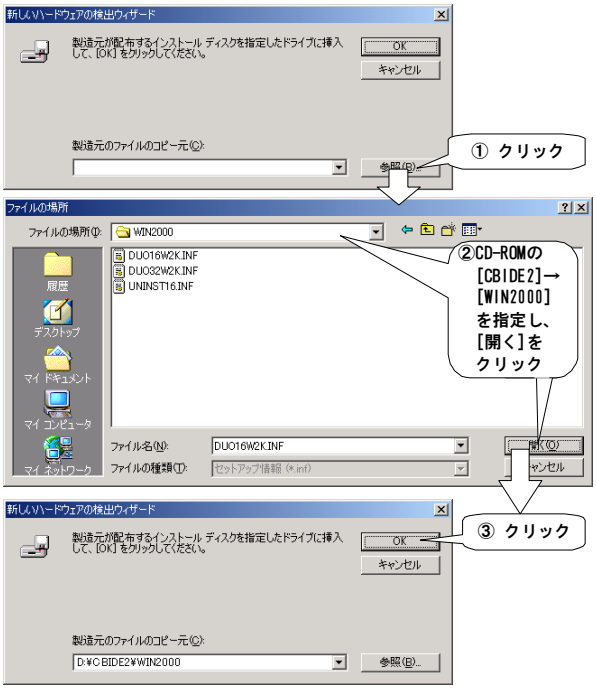
自動で画面が表示された場合は、[EXIT]をクリックして、画面を閉じてください。

11 **フォルダを指定し、[OK]ボタンをクリックします。**

①[参照]ボタンをクリックします。

②ディスクを挿入したドライブの[CBIDE2]→[WIN2000]を指定し、[開く]ボタンをクリックします。

③最初の画面の[OK]ボタンをクリックします。



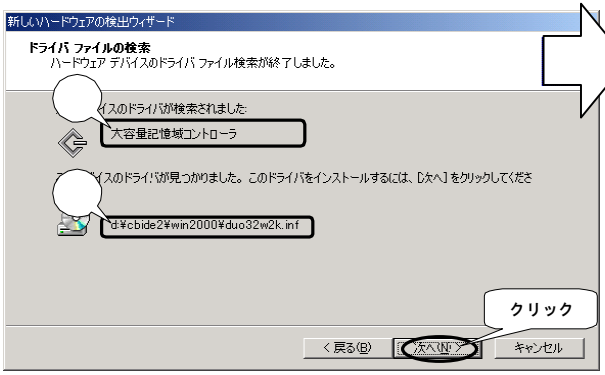
注意

CD-ROMドライブが無い場合は…

手順**10**で「CBIDEⅡシリーズサポートソフト」FDをセットします。

手順**11**でサポートソフト内の「WIN2000」フォルダを指定します。

12 **表示を確認し、［次へ］ボタンをクリックします。**



13 **［はい］ボタンをクリックします。**

「デジタル署名が見つかりませんでした」の画面が表示されますが、［はい］ボタンをクリックします。

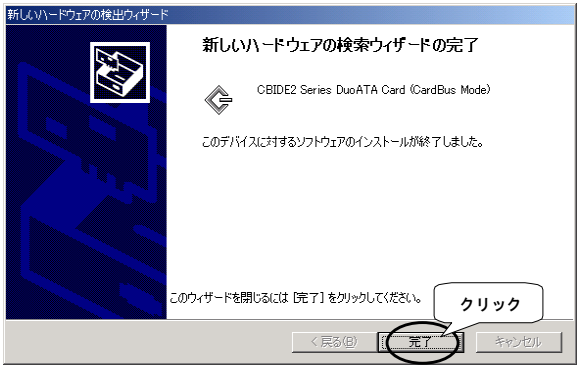


以下のようになります。
（●はディスクをセットしたドライブ名）

CardBusモードの場合
①「大容量記憶域コントローラ」　または、
「CBIDE2 Series DuoATA Card(CardBus Mode)」
②CD-ROMの場合
「●:\cbide2\win2000\duo32w2k.inf」
FDの場合
「●:\win2000\duo32w2k.inf」

16Bitモードの場合
①「IO_DATA CBIDE2__」
または、
「CBIDE2 Series DuoATA Card(16Bit Mode)」
②CD-ROMの場合
「●:\cbide2\win2000\duo16w2k.inf」
FDの場合
「●:\win2000\duo16w2k.inf」

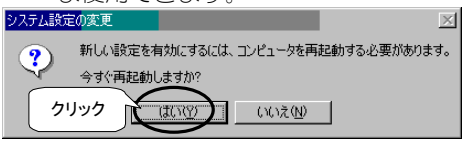
14 **［完了］ボタンをクリックします。**



15 **手順*10*でセットしたディスクを取り出します。**

16 **以下の画面が表示された場合は、［はい］ボタンをクリックします。**

Windows 2000が再起動されます。
以下の画面が表示されない場合はそのまま使用できます。



以上で本製品は使用できるようになりました。
次回からインストールする必要はありません。
次に正常にインストールが終了したことを確認するため、次ページへお進みください。

注意

・CardBusモードで使用時の注意

PCカードを、インストール時に接続していたスロットと別のスロットに接続した場合は、【困った時には】をご覧ください。

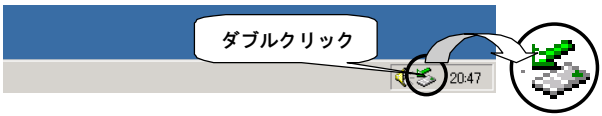
81ページ

インストール後の確認をする

●インストールしたサポートソフトを確認する

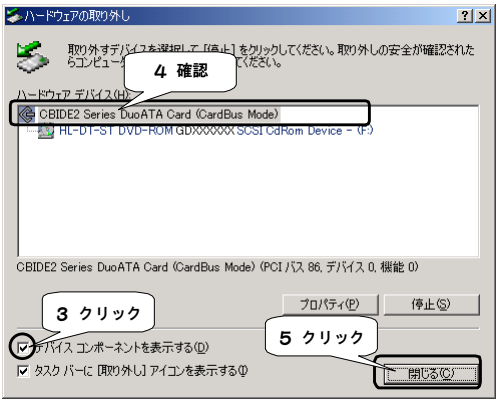
1 **タスクトレイにPCカードアイコンがあることを確認します。**
右下のタスクトレイにPCカードのアイコンがあることを確認します。

2 **タスクトレイのPCカードアイコンをダブルクリックします。**



3 **「デバイスコンポーネントを表示する」にチェックが入ってない場合は、クリックしてチェックします。**

4 **PCカードが正常に認識されていることを確認します。**
「CBIDE2 Series …」と表示されていることを確認します。



※「XXX…」はバージョンにより異なります。

注意

本製品をパソコンに接続した状態で確認してください。

注意

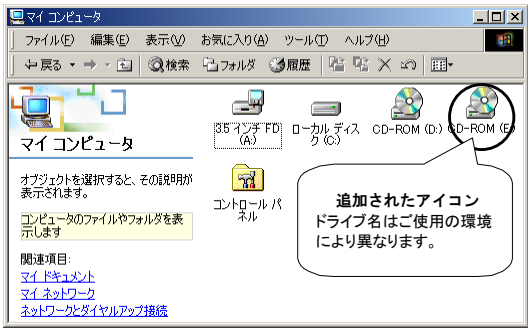
「HL-DT-ST DVD-ROM…」という記述がない場合は、以下の手順にしたがってください。

①Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。
②本製品の電源を切ります。
③PCカードを抜き、PCカード側と本製品側のケーブルを抜き差しします。
④PCカードをパソコンに装着します。
⑤本製品の電源を入れます。
⑥パソコンの電源を入れます。

5 ［閉じる］ボタンをクリックします。

6 ［マイコンピュータ］をダブルクリックします。

7 [CD-ROM]アイコンが追加されていることを確認します。



注意

本製品に任意のCD-ROMディスクを挿入し、表示が変わったアイコンが本製品のアイコンです。

注意

ドライブアイコンが表示されない場合

⇒【困った時には】
をご覧ください。

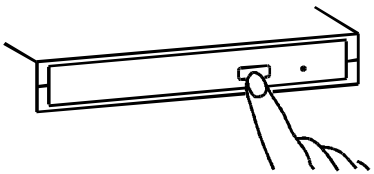
８１ページ

2．基本操作

本製品を使用する上でおぼえてほしいことを説明します。

ディスクを入れる/出す

1　イジェクトボタンを押すと、トレイが２cm程出てきますので、ゆっくりと引き出します。



注意

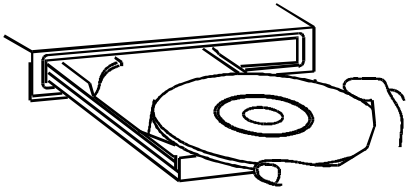
無理に引き出すとDVD-ROMドライブを損傷する恐れがあります。トレイの引き出しは慎重に行ってください。

注意

トレイが出てこない！

⇒【困った時には】
をご覧ください。
６４ページ

2　ディスクを入れる、または、出します。



注意

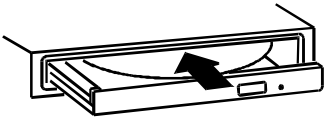
●ディスクを入れるとき

文字などが印刷されているディスク面を上にしてディスクをセットします。両面タイプの場合は再生する方を下面にセットします。トレイの中心にある軸に、「カチッ」と音がするまでしっかりとディスクをはめ込んでください。

●ディスクを出すとき

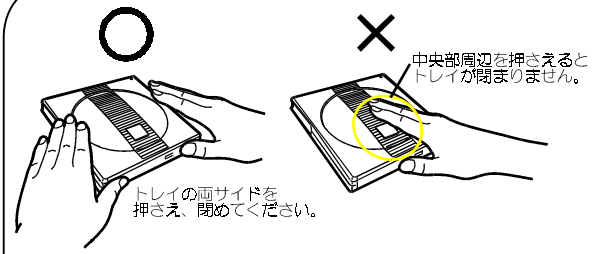
ディスクの回転が完全に止まっていることを確認してからディスクを取り出します。

3 **トレイを元に戻します。**



注意

イジェクトボタンに触れないようにトレイ前面を押し、「カチッ」と音がするまでトレイを指で押し込みます。トレイから手を離してもトレイが出てこないことを確認してください。



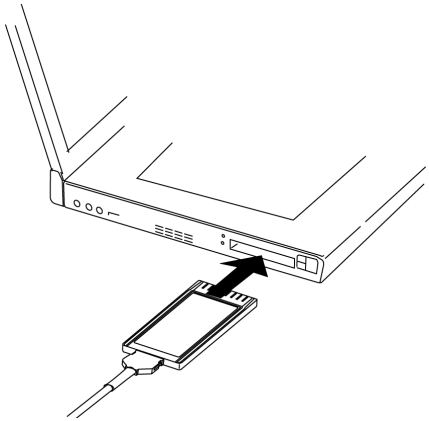
注意

トレイを閉める際は、○のように両サイドを押さえながら閉じてください。
×のように中央部周辺（特に帯状の部分）に力を加えるとトレイが閉まりません。

PCカードを入れる

DVD-ROMドライブに接続したPCカードをパソコンのPCカードスロットに挿入します。

パソコンの電源を入れる前、または入れた後でも挿入できます。



注意

DVD-ROMドライブの電源を入れてから、PCカードを挿入してください。

注意

一度抜いたPCカードを再度入れる場合は、Windowsを再起動してから入れてください。
Windowsが起動後にPCカードの抜き差しはしないでください。

PCカードを出す

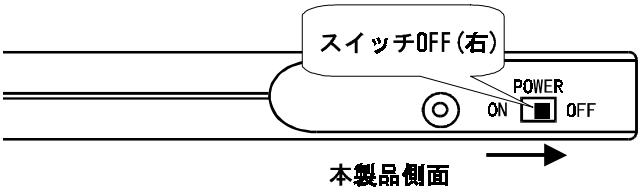
●パソコンの電源が切れた状態のとき

1 本製品のBUSYランプが消えていることを確認します。

2 本製品からディスクを取り出します。

3 PCカードをパソコンから取り外します。

4 本製品の電源を切ります。



●パソコンの電源が入った状態のとき

Windows 2000を使用中でもPCカードを取り外すことができます。必ず終了手順を行ってください。（【終了手順-その１】または【終了手順-その２】どちらの方法でも取り出すことができます。）

注意

終了手順を行わずにPCカードを取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。

終了手順ーその１

1 **イジェクトボタンを押して、ディスクを取り出してください。**

注意

ディスクの回転が完全に止まっていることを確認してからディスクを取り出します。

2 **タスクトレイのPCカードアイコンをクリックします。**

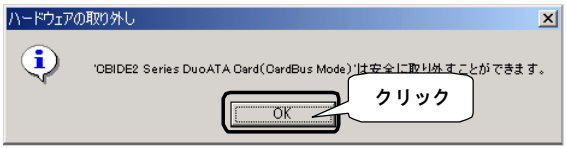


3 **「CBIDE2 Series…の中止」をクリックします。**

タスクバーのPCカードアイコンをクリックします。表示された［CBIDE2 Series …の中止］をクリックします。



4 **［OK］ボタンをクリックします。**

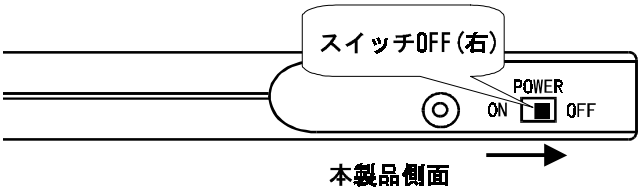


5 PCカードをPCカードスロットから取り外します。

6 本製品の電源を切ります。

注意

必ず、PCカードを取り出した後に本製品の電源を切ってください。



本製品側面

終了手順ーその２

1 イジェクトボタンを押して、ディスクを取り出してください。

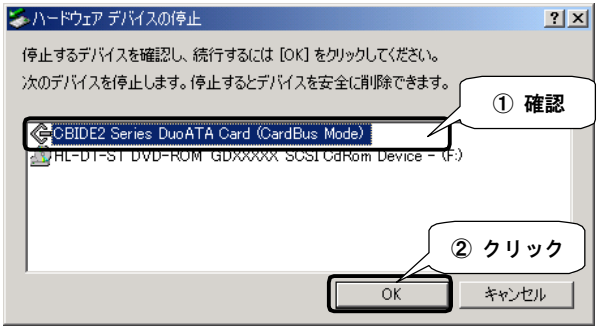
2 タスクトレイのPCカードアイコンをダブルクリックします。

3 本製品を選択し、［停止］ボタンをクリックします。

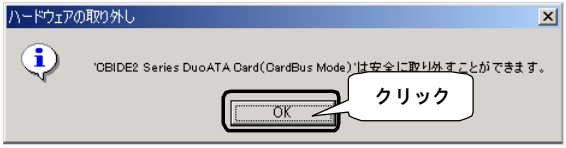


4 **本製品を確認して、［OK］ボタンをクリックします。**

「CBIDE2 Series …」が表示されていることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。

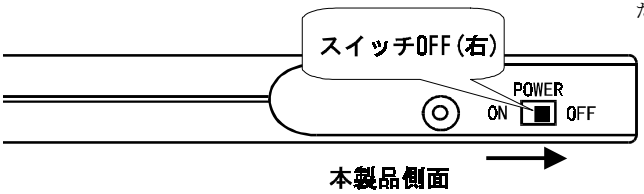


5 **［OK］ボタンをクリックします。**



6 **PCカードをPCカードスロットから取り外します。**

7 **本製品の電源を切ります。**



注意

必ず、PCカードを取り出した後に本製品の電源を切ってください。

３．使ってみよう

DVDビデオを見る

DVDビデオを見るには、添付の「PowerDVD VR-X」などのDVDビデオ再生ソフトが必要です。
「PowerDVD VR-X」のインストール方法や使用方法については、別冊の「PowerDVD VR-Xクイックガイド」をご覧ください。
ただし、本製品のPCカードはCardBusモード時のみ再生できます。

▼I-O DATAオリジナル操作パネル



注意

16bitモードでは、DVDビデオの再生はできません。コマ落ちが発生します。

注意

PowerDVD VR-Xを使用する際のご注意

・本製品のリージョンコードは、出荷時状態で“２”に設定されています。
リージョンコードを変更した場合は、保証致しかねます。
・本製品添付のPowerDVD VR-Xはドルビーヘッドホンに対応しておりません。
・PowerDVD VR-Xに関しては、サイバーリンク㈱にお問い合わせください。

９６ページ

音楽CDを聞く

方法①デジタルオーディオ機能を使用します。（デジタル再生）

詳しくは、右のコラムをご覧ください。

方法②ヘッドホンやスピーカーなどを接続します。（アナログ再生）

環境に応じて接続してください。

① 本製品側面のLINE OUT端子をサウンドボード（CD IN）やパソコン本体のオーディオコネクタまたはステレオアンプに接続します。

② パソコンに装着したサウンドボードから再生する場合は、本製品側面のLINE OUT端子と、サウンドボードのCD IN(またはLINE IN)を市販のオーディオケーブルで接続してください。

※ヘッドホン、スピーカー、オーディオケーブルは本製品には付属しておりません。別途、お買い求めください。

お使いの環境に合った方法でお聞きください。



【デジタルオーディオ機能の設定】
６６ページ



音楽CDが聞けない！
⇒【困った時には】をご覧ください。
６５ページ

Windows NT 4.0で使う

この章では、Windows NT 4.0で本製品をパソコンへ接続する前の準備について、順を追って説明しています。

1．インストールする

本製品を、お使いのパソコンで使えるようにするための作業をします。

50ページ

▼

2．基本操作

ディスクの入れ方/出し方、PCカードの入れ方/出し方をおぼえてください。

55ページ

▼

3．使ってみよう

本製品で音楽CDを聞きます。

59ページ

1．インストールする

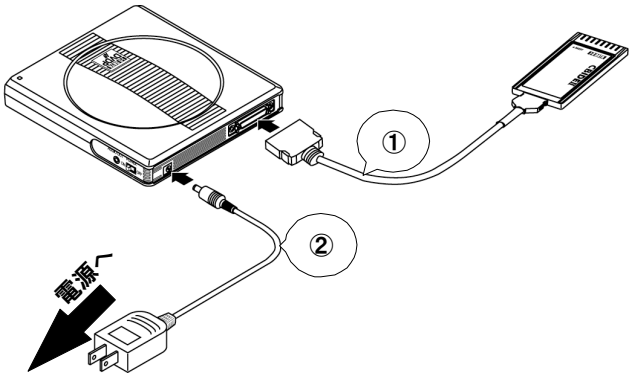
ここでは、本製品を、お使いのパソコンで使用できるようにするため、サポートソフトをインストールします。

インストールする

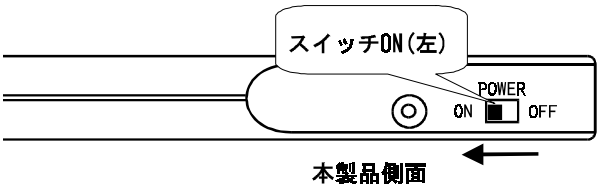
1　本製品にPCカードとACアダプタを接続します。

①本製品とPCカードを添付のケーブルで接続します。

②本製品にACアダプタを接続し、電源コンセントに接続します。



2　本製品の電源を入れます。



注意

・PCカードのモードを16bitモードに設定しましたか？

⇒していない場合は、設定してください。

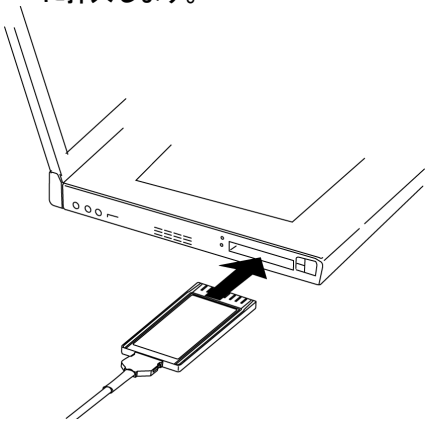
１１ページ

注意

ACアダプタを使用しない場合、②の操作は必要ありません。【ACアダプタ無しで使う】をご覧ください。

８５ページ

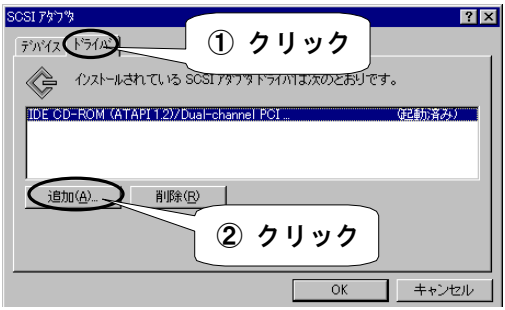
3 **PCカードをパソコンのPCカードスロットに挿入します。**



4 **Windows NT 4.0を起動します。**

5 **［SCSIアダプタ］画面を表示させます。**
［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内の［SCSIアダプタ］アイコンをダブルクリックします。

6 **［ドライバ］タブ内にある［追加］ボタンをクリックします。**



注意

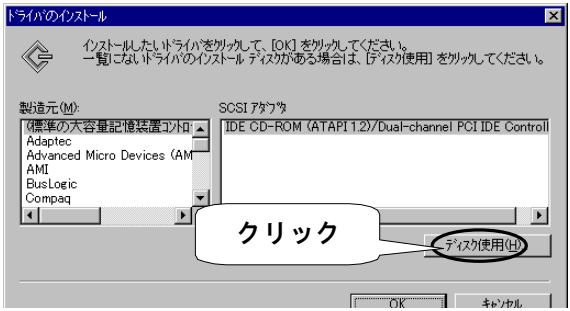
Administrator権限のあるユーザーでログオンしてください。

注意

[追加]ボタンをクリックできない

⇒Administrator権限のあるユーザーでログオンしてください。

7 **［ディスク使用］ボタンをクリックします。**



8 **「DVDビデオスターターキット」CD-ROMを本製品以外のCD-ROMドライブにセットします。**

自動で画面が表示された場合は、[EXIT]をクリックして、画面を閉じてください。

9 **フォルダを入力します。**

「配布ファイルのコピー元」に
「D:¥CBIDE2¥WINNT40」
（CD-ROMドライブがDの場合）と入力し、
[OK] ボタンをクリックします。



注意

CD-ROMドライブが無い場合は…

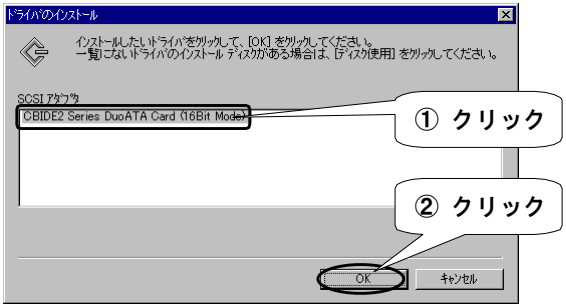
手順**8**で「CBIDEⅡシリーズサポートソフト」FDをセットします。

手順**9**でサポートソフト内の「winnt40」フォルダを指定します。

例）a;\winnt40
（FDドライブがAの場合）

10 **本製品を選択します。**

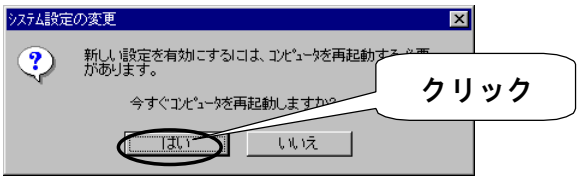
［CBIDE2 Series DuoATA Card(16Bit Mode)］をクリックし、［OK］ボタンをクリックします。



11 **インストール終了後に手順8でセットしたディスクを抜きます。**

12 **［はい］ボタンをクリックします。**

⇒パソコンが再起動されます。



以上で本製品は使用できるようになりました。

次回からインストールする必要はありません。

次に正常にインストールが終了したことを確認するため、次ページへお進みください。

インストール後の確認をする

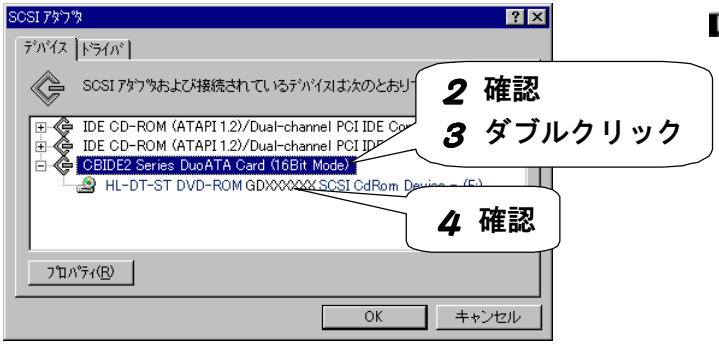
●インストールしたサポートソフトを確認する

1 **［SCSIアダプタ］画面を表示させます。**
［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内の［SCSIアダプタ］アイコンをダブルクリックします。

2 **「CBIDE2 Series DuoATA Card(16Bit Mode)」と表示されていることを確認します。**

3 **「CBIDE2 Series DuoATA Card(16Bit Mode)」をダブルクリックします。**

4 **DVD-ROMドライブがあることを確認します。**
「HL-DT-ST DVD-ROM…」と表示されていることを確認します。



※「XXX…」はバージョンにより異なります。

注意

本製品をパソコンに接続した状態で確認してください。

注意

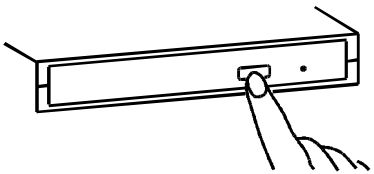
表示されていない
対処①：ケーブルの接続とドライブの電源が入っていることをご確認ください。
対処②：【困った時には】をご覧ください。
82ページ

2．基本操作

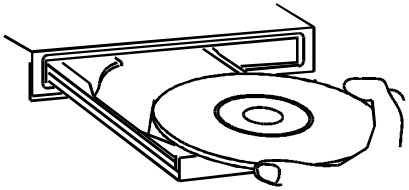
本製品を使用する上でおぼえてほしいことを説明します。

ディスクを入れる/出す

1　イジェクトボタンを押すと、トレイが２cm程出てきますので、ゆっくりと引き出します。



2　ディスクを入れる、または、出します。



注意

無理に引き出すとDVD-ROMドライブを損傷する恐れがあります。トレイの引き出しは慎重に行ってください。

注意

トレイが出てこない！

⇒【困った時には】
をご覧ください。

６４ページ

注意

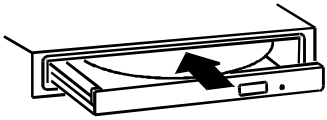
●ディスクを入れるとき

文字などが印刷されているディスク面を上にしてディスクをセットします。両面タイプの場合は再生する方を下面にセットします。トレイの中心にある軸に、「カチッ」と音がするまでしっかりとディスクをはめ込んでください。

●ディスクを出すとき

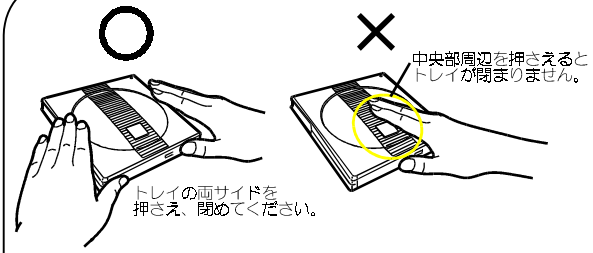
ディスクの回転が完全に止まっていることを確認してからディスクを取り出します。

3　トレイを元に戻します。



注意

イジェクトボタンに触れないようにトレイ前面を押し、「カチッ」と音がするまでトレイを指で押し込みます。トレイから手を離してもトレイが出てこないことを確認してください。



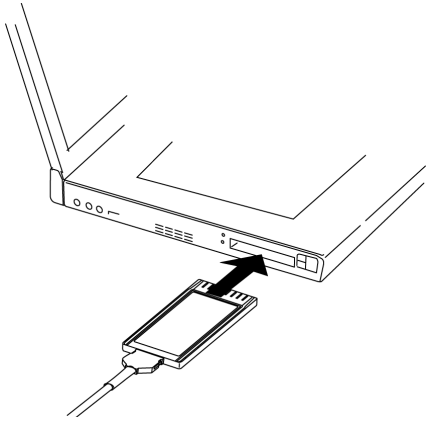
注意

トレイを閉める際は、○のように両サイドを押さえながら閉じてください。
×のように中央部周辺（特に帯状の部分）に力を加えるとトレイが閉まりません。

PCカードを入れる

DVD-ROMドライブに接続したPCカードをパソコンのPCカードスロットに挿入します。

パソコンの電源を入れる前に、挿入してください。



注意

パソコンの電源を入れる前に、PCカードを挿入してください。

PCカードを出す

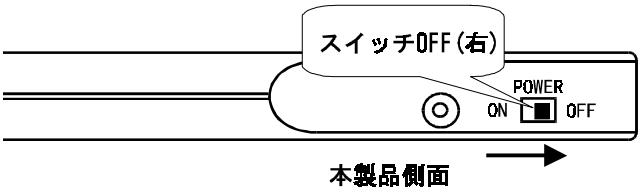
1 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。

2 本製品のBUSYランプが消えていることを確認します。

3 本製品からディスクを取り出します。

4 PCカードをパソコンから取り外します。

5 本製品の電源を切ります。



３．使ってみよう

音楽CDを聞く

音楽CDは以下の方法でお聞きください。

環境に応じて接続してください。

① 本製品側面のLINE OUT端子をサウンドボード（CD IN）やパソコン本体のオーディオコネクタまたはステレオアンプに接続します。

② パソコンに装着したサウンドボードから再生する場合は、本製品側面のLINE OUT端子と、サウンドボードのCD IN(またはLINE IN)を市販のオーディオケーブルで接続してください。

※ヘッドホン、スピーカー、オーディオケーブルは本製品には付属しておりません。別途、お買い求めください。



音楽CDが聞けない！

⇒【困った時には】をご覧ください。

６５ページ

MEMO

付録

ここでは、困った時の対処などを記述しています。必要になったらご覧ください。

困った時には

トラブルが起こったときにご覧ください。

60ページ

ACアダプタ無しで使う

添付のACアダプタを使わずに使用する方法を説明します。

85ページ

ドライバを削除する

インストールしたドライバを削除します。

89ページ

仕様

本製品の仕様です。

94ページ

困った時には

本製品を使用していて異常があったときにご覧ください。

状態（基本的なトラブル）	参照ページ
本製品の電源ランプが点灯しない	63
本製品のBUSYランプが点滅しない	63
ディスクが取り出せない	64
音が出ない	65

状態（Windows Me/98/95のトラブル）	参照ページ
[マイコンピュータ]の中に[CD-ROM]アイコンがない	68
ディスクが読めない	71
PCカードのプロパティで「(空)-ソケット1(2)」と表示される	71
VAIO PCG-731/733/737で、サスペンドを利用後にリセットし、Safeモードでないと起動できない	74
PC98-NXシリーズで、［デバイスマネージャ］タブが表示されない	75
OS起動中に止まってしまう	75
Windows 98の終了画面で止まってしまう	76
PCカードがCardBusモードの時で、サスペンドから復帰したらCD-ROMドライブアイコンが消えたり、アクセスできない	79
PCカードをパソコンに挿入すると「新しいハードウェア」などが表示されたまま消えない	79
PCカードのプロパティ表示がおかしい（Windows 95のみ）	80

状態（Windows 2000のトラブル）	参照ページ
PCカードを挿入すると「デジタル署名…」の画面が表示される	81
[マイコンピュータ]の中に[CD-ROM]アイコンがない	81

状態（Windows NT 4.0のトラブル）	参照ページ
[SCSIアダプタ]に本製品が表示されない	82

基本的なトラブル

本製品の電源ランプが点灯しない

原因	本製品とACアダプタの接続またはPCカードのモードが間違っている
対処	ACアダプタを使用している場合は、次を確認してください。 ・ACアダプタが外れていないこと ・Powerスイッチが**ON**になっていること ACアダプタを使用していない場合は、次を確認してください。 ・接続ケーブルのコネクタが外れていないこと ・Powerスイッチが**ON**になっていること ・PCカードのモードが「16bitモード」になっていること （ACアダプタを接続せずに使用するには、PCカードのモードを「16bitモード」に設定する必要があります。）

本製品のBUSYランプが点滅しない

原因１	ディスクが確実に入っていない
対処	ディスクが確実に入っていることを確認してください。

原因２	ケーブルが確実に接続されていない
対処	ケーブルの接続を確認してください。

ディスクが取り出せない

原因1 本製品の上に物が乗せられている

対処 本製品の上に物を置かないでください。

原因2 トレイに何かが引っかかっている

対処 以下の手順にしたがってください。

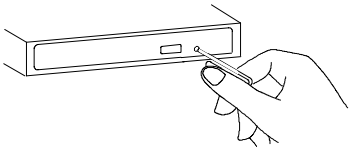
注意

次の操作は、緊急のための操作です。むやみにご使用になると故障の原因となります。この方法で取り出せない場合は、無理に引き出さず弊社サービス窓口にご依頼ください。(99ページ参照)

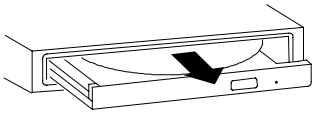
〈用意するもの〉
太さ1.3㎜程度、長さ15㎜以上(指で持つ部分を除く)の針金 1本
※大きめのペーパークリップを伸ばしても使用することができます。

1 **Windowsを終了し、本製品及びパソコン本体の電源をOFFにします。**

2 **イジェクトホールに針金を差し込み強く押します。**



3 **トレイが2㎝程度前に出るので手で更に引き出し、ディスクを取り出します。**



ディスクを取り出した後、トレイを軽く押し戻してください。

音が出ない

原因１	ディスクが確実に入っていない
対処	ディスクが確実に入っていることを確認してください。
原因２	ディスクが変形/破損していたり、汚れている
対処	変形/破損しているディスクは使用しないでください。また、汚れがある場合は汚れを取り除いてください。
原因３	音声データが入っていないディスクを入れている
対処	音声データが入っているディスクを使用してください。
原因４	ケーブルが確実に接続されていない（アナログ再生）
対処	本製品とパソコンを市販のオーディオケーブルで接続している場合は、本製品(LINE OUT)およびパソコン(LINE IN)の接続を再度確認してください。 本製品にアンプ付きスピーカーを接続している場合は、本製品(LINE OUT)の接続を再度確認してください。
原因５	パソコンまたはOSが「デジタルオーディオ機能」に対応していない（デジタル再生）
対処	Windows 95やWindows NT 4.0は「デジタルオーディオ機能」に対応しておりません。原因４の対処をご覧ください。 次ページ以降をご覧の上、「デジタルオーディオ機能」に対応しているかをご確認ください。対応していない場合は原因４の対処をご覧ください。対応している場合は「デジタルオーディオ機能」の設定をしてください。



音楽CDとDVDビデオの音声について

音楽CDとDVDビデオの音声出力の方法は以下のようになります。

- ***音楽CD***

  通常はアナログのオーディオケーブルで接続します。
  「デジタルオーディオ機能」を有効にすると、音声はデータとして扱われるため、オーディオケーブルの接続は不要になります。音声はパソコン本体のスピーカーから出力されます。（デジタルオーディオ機能を有効にした場合は、アナログ信号は出力されません。また、音飛びが発生する可能性があります。）

- ***DVDビデオ***

  映像も音声もデータとして送信されるため、オーディオケーブルの接続は不要です。音声はパソコン本体のスピーカーから出力されます。（アナログ信号は出力されません。）

デジタルオーディオ機能の設定

デジタルオーディオ機能に対応しているかどうかは、次ページの方法で確認してください。
デジタルオーディオ機能に対応していない場合は、以下の方法でお聞きください。

方法①：本製品の「LINE OUT」にアンプ付きスピーカーを接続する。
方法②：市販のオーディオケーブルで以下の接続をする。
「LINE IN」（パソコン側）⇔「LINE OUT」（本製品側）



●Windows Meの場合

①[マイコンピュータ]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

②[デバイスマネージャ]タブをクリックし、[CD-ROM]をダブルクリックして表示された[HL-DT-ST DVD-ROM …]をダブルクリックします。

③[プロパティ]タブをクリックし、[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]という表示があることをご確認ください。

④チェックすることが可能な場合は、チェックをつけます。
チェックできない場合は、デジタルオーディオ機能に対応していません。

●Windows 98の場合

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]内の[マルチメディア]アイコンをダブルクリックします。

②[音楽CD]タブをクリックします。

③[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]という表示があることをご確認ください。

④チェックすることが可能な場合は、チェックをつけます。
チェックできない場合は、デジタルオーディオ機能に対応していません。

●Windows 95 OSR2の場合

デジタルオーディオ機能に対応していません。

●Windows 2000の場合

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]内の[システム]アイコンをダブルクリックします。

②[ハードウェア]タブをクリックします。

③[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

④[DVD/CD-ROMドライブ]をダブルクリックして表示された[HL-DT-ST DVD-ROM …]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

⑤[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]という表示があることをご確認ください。

⑥チェックすることが可能な場合は、チェックをつけます。
チェックできない場合は、デジタルオーディオ機能に対応していません。

●Windows NT 4.0の場合

デジタルオーディオ機能に対応していません。

Windows Me/98/95のトラブル

[マイコンピュータ]の中に[CD-ROM]アイコンがない

原因 いくつかの原因が考えられますので、以下の手順で確認してください

1 **「マイコンピュータ」をダブルクリックします。**

2 **［最新の情報を表示］します。**

［表示］タブ→［最新の情報を表示］の順にクリックします。

これで表示された	**ただ表示されていなかっただけです。このまま、問題無くお使いいただけます。**

3 **DVD-ROMドライブとPCカードの接続を確認します。**
また、PCカードとパソコンの接続を確認します。

ケーブルがコネクタに正しく接続されているか、本製品の電源が入っているかを確認してください。また、PCカードがPCカードスロットの奥まで挿入されているか確認してください。

確認後、一度PCカードをパソコンから取り外し（【PCカードの出し方】(24ページ以降)）、再び挿入し直してみてください。

これで表示された	**正しく接続されていなかっただけです。このまま、問題無くお使いいただけます。**

4 **「システムのプロパティ」を表示します。**

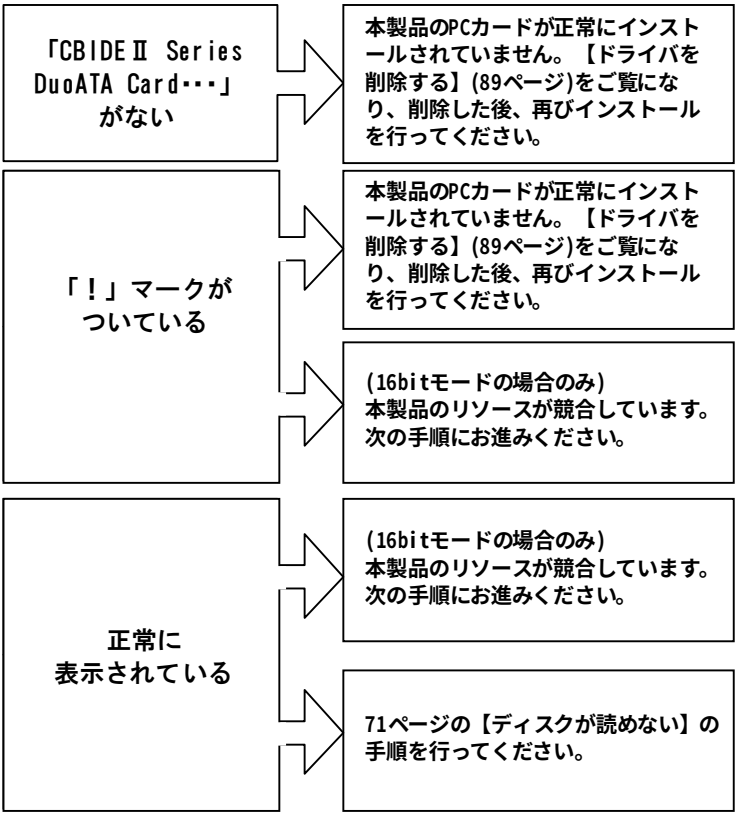
［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

5 **［デバイスマネージャ］タブをクリックします。**

6 ［種類別に表示］を選択します。

7 ［ハードディスクコントローラ］をダブルクリックします。

8 「CBIDEⅡ Series DuoATA Card……」がその下にあるか確認します。



以降は「16bitモード」でご使用の場合のみご覧ください。

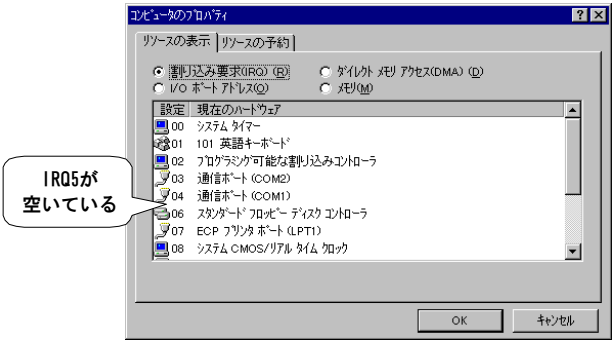
9 **［コンピュータのプロパティ］を表示します。**

［コンピュータ］を選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

10 **［割り込み要求(IRQ)］をクリックします。**

11 **割り込み(IRQ)の空きを確認します。**

表示された数字で0～15の中にない数字があればそこは空いています。



空きがない → **使用していない何らかの機能を無効化して割り込みの空きを用意してください。（無効化する方法についてはパソコン本体の取扱説明書もしくはパソコン本体メーカーにご確認ください）**

12 **パソコンを再起動します。**

これで表示 された → **IRQが空いたので認識されました。このまま、問題無くお使いいただけます。**

ディスクが読めない

原因	16bit高速アクセスモードが使用できない
対処	①ドライバを削除します。（89ページ参照） ②[16Bit PIO Mode]をインストールします。 インストール（14ページ以降）の手順**1**～**6**を行います。 その際、手順**5**で[16Bit PIO Mode]を選択します。

PCカードのプロパティで「(空)-ソケット1(2)」と表示される

原因	IBM製 ThinkPadで本製品を使用している （Windows 95で、PCカードのモードが16bitモードの場合）
対処	以下の「方法１」を行います。

方法１

1 **本製品をパソコンに接続します。**

2 **［CardWizard］を起動します。**

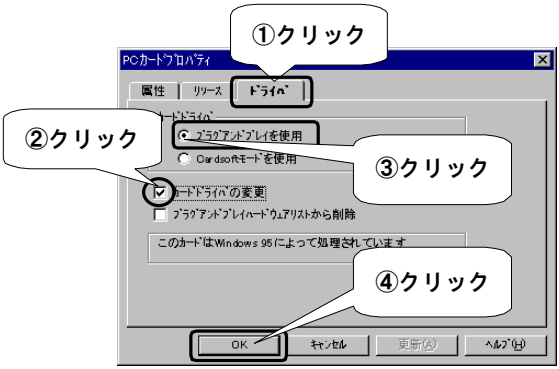
デスクトップ上にある［CardWizard］アイコンをダブルクリックします。アイコンがない場合は、［スタート］→［プログラム］→［CardWorks］→［CardWizard］の順にクリックします。

両方ない場合は、「方法２」を行ってください。

3 **［表示］→［プロパティ］を選択します。**

4 ［ドライバ］タブ内の「カードドライバ」の設定を変更します。

［ドライバ］タブをクリックし、「カードドライバの変更」にチェックします。
次に［プラグアンドプレイを使用］をチェックし、［OK］ボタンをクリックします。



5 ［OK］ボタンをクリックします。

6 本製品をパソコンから一度抜き、再び挿入します。

方法２

1 「SYSEDIT」を起動します。

［スタート］→［ファイル名を指定して実行］の順にクリックします。「名前」に「SYSEDIT」と入力し、［OK］ボタンをクリックします。

2 「CONFIG.SYS」を編集します。

「CONFIG.SYS」ウィンドウをクリックし、全ての「¥Card Works¥」の入った行の一番前に「REM 」（REMの後はスペースを入れてください）を追加します。
終わりましたら、上書き保存を行いウィンドウを閉じます。

3 パソコンを再起動します。

4 本製品をパソコンに接続します。

5 「PCカードのプロパティ」を確認します。

【インストール後の確認をする】(18ページ)を参照。

6 「SYSEDIT」を起動します。

方法は、手順**1**を参照。

7 手順2で追加した「REM 」を全て削除します。

終わりましたら、上書き保存を行いウィンドウを閉じます。

VAIO PCG-731/733/737で、サスペンドを利用後にリセットし、Safeモードでないと起動できない

原因 サスペンドの設定に問題がある

対処 以下のようにしてください。

1 下側のPCカードスロットにPCカードを挿入します。

2 「Modem Ring Resume」を「オフ」にします。

「PowerPanel」の設定で、「Modem Ring Resume」を「オフ」にします。

※ 「PowerPanel」についてはパソコン取扱説明書をご覧ください。

3 「パワーマネジメント」の設定を変えます。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内の［パワーマネジメント］をダブルクリックします。

［詳細］タブをクリックし、「電話が鳴ったら、コンピュータを元の状態に戻す」のチェックを外します。

PC98-NXシリーズで、[デバイスマネージャ]タブが表示されない

原因 アドバンスドモードにする必要がある

対処 以下のようにしてください。

1 **「Cyber Trio-NXセットアップ」を起動します。**

［スタート］→［プログラム］→［Cyber Trio-NX］（［NXユーティリティ］、［NXの設定］）→［Cyber Trio-NXセットアップ］を起動します。

2 **「アドバンスドモード」にします。**

「アドバンスドモード」にチェックし、［OK］ボタンをクリックします。

3 **Windowsを再起動します。**

自動で再起動されます。

自動で再起動されない場合は、[スタート]→[Windowsの終了]から再起動してください。

OS起動中に止まってしまう

原因 本製品のPCカードと他のPCカードの組み合わせが悪い

対処 【本製品のPCカードと他のPCカードを同時に使用する場合の注意】(viページ)を参照してください。

Windows 98の終了画面で止まってしまう

原因 USBドライバとPCカードのリソースが競合している

方法1 USBドライバのリソース値を、以下の手順で変更してください。

1 PCカードを挿入せずにWindows 98を起動します。

2 「システムのプロパティ」を表示します。

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

3 ［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

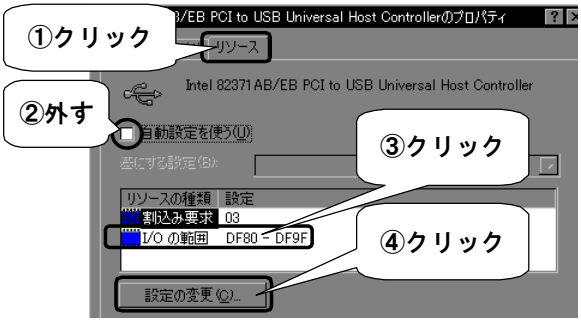
4 USBドライバのプロパティを開きます。

［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］をダブルクリックし、その下のUSBドライバをダブルクリックします。



5 ［I/Oの範囲］を編集します。

①［リソース］タブをクリックします。
②［自動設定を使う］のチェックを外します。
③［I/Oの範囲］を選択します。
④［設定の変更］ボタンをクリックします。



6 **［I/Oの範囲］の値を変更します。**

「競合の情報」に「競合なし」と出るよう「値」を変更します。

［OK］ボタンをクリックします。

7 **表示にしたがい、リソースを有効にします。**

8 **以上の設定後、再度現象を確認してください。**

同じ現象が出る場合は、再度別の［I/Oの範囲］の値に変更してみてください。

方法２ 「方法１」で改善されない場合、以下の方法をお試しください。

1 **［システム情報］を起動します。**

［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［システムツール］→［システム情報］を順にクリックします。

2 **［詳細設定］を表示します。**

［ツール］→［システム設定ユーティリティ］→［詳細設定］を選択します。

3 **「高速シャットダウンを使用不可にする」にチェックします。**

方法３ USBドライバを、使用不可にします。

1 **PCカードを挿入せずにWindows 98を起動します。**

2 **「システムのプロパティ」を表示します。**

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

3 **［デバイスマネージャ］タブをクリックします。**

4 **USBドライバのプロパティを開きます。**

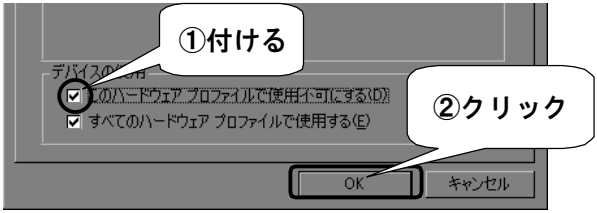
［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］をダブルクリックし、その下のUSBドライバをダブルクリックします。



5 **USBドライバを無効化します。**

［このハードウェアプロファイルで使用不可にする］にチェックをつけます。

［OK］ボタンをクリックします。



トラブルがなおった

リソース(I/Oの範囲)の競合が問題です。
「方法１」を再度お試しください。

PCカードがCardBusモードの時で、サスペンドから復帰したらCD-ROMドライブアイコンが消えたり、アクセスできない

原因	本製品のPCカードが認識されていない
対処	PCカードをパソコンから取り外したあと、もう一度挿入し直してください。

PCカードをパソコンに挿入すると「新しいハードウェア」などが表示されたまま消えない

キャンセルボタンをクリックし、以下をご確認ください。

原因1	インストールされていない
対処	14ページ以降をご覧になりインストールしてください。

原因2	正しくインストールされていない
対処	①ドライバを削除します。（89ページ参照） ②[16Bit PIO Mode]をインストールします。 インストール（14ページ以降）の手順**1**～**6**を行います。 その際、手順**5**で[16Bit PIO Mode]を選択します。

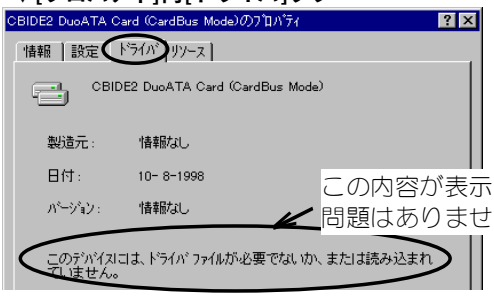
原因3	32ビットカードドライバがインストールされていない
対処	［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内の［PCカード（PCMCIA）］アイコンをダブルクリックしてください。 ［PCカード（PCMCIA）のプロパティ］画面以外が表示された場合は、指示にしたがって32ビットカードドライバをインストールしてください。

PCカードのプロパティ表示がおかしい（Windows 95のみ）

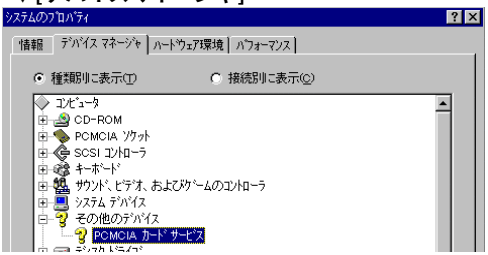
対処

Windows 95のプロパティ表示が以下のようになっていても問題ありません。そのままご使用になれます。

▼[プロパティ]内[ドライバ]タブ

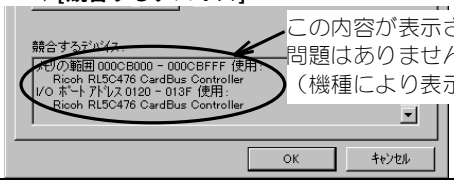


▼[デバイスマネージャ]



本製品のPCカードが正常に認識されるとデバイスマネージャ」の「その他のデバイス」に「？ PCMCIA カードサービス」が追加される場合があります。
これは正常動作している状態ですので、削除したりしないでください。

▼[競合するデバイス]



Windows 2000のトラブル

PCカードを挿入すると「デジタル署名…」の画面が表示される

原因 インストール時に挿入したスロットとは別のスロットに挿入した

対処 以下のようにしてください。

① 「デジタル署名」の画面が表示されますので、
このスロットで使用する場合は［はい］ボタンをクリックします。
このスロットで使用しない場合は［いいえ］ボタンをクリックします。
（［いいえ］ボタンをクリックした場合は、インストール時に接続していたスロットにPCカードを接続してご使用ください。）

② 「DVDビデオスターターキット」CD-ROMか「CBIDEⅡシリーズサポートソフト」をセットします。

③ セットしたディスクの「¥win2000」を入力して［OK］ボタンをクリックします。

例1）「DVDビデオスターターキット」CD-ROMをセットし、
CD-ROMドライブがDドライブの場合
D:¥CBIDE2¥win2000

例2）「CBIDEⅡシリーズサポートソフト」をセットし、
FDドライブがAドライブの場合
A:¥win2000

［マイコンピュータ］の中に［CD-ROM］アイコンがない

対処 以下のようにしてください。

① Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。
② 本製品の電源を切ります。
③ PCカードを抜き、PCカード側と本製品側のケーブルを抜き差しします。
④ PCカードをパソコンに装着します。
⑤ 本製品の電源を入れます。
⑥ パソコンの電源を入れます。

Windows NT 4.0のトラブル

[SCSIアダプタ]に本製品が表示されない

原因１	ケーブルが確実に接続されていない
対処	ケーブルの接続をご確認ください。
原因２	本製品の電源が入っていない
対処	本製品の電源を入れてから、PCカードを挿入してください。
原因３	リソースの競合がある
対処	以下をお試しください。 ①パソコン本体のIRQやI/Oポートに空きがあることをご確認ください。（方法についてはパソコン本体の取扱説明書をご覧いただくか、パソコン本体メーカーにお問い合わせください。） ②添付の「RESEDIT」で回避することができます。 「RESEDIT」を使って、リソースを変更してください。 使用方法については次ページをご覧ください。

Windows NT 4.0で本製品のPCカードに割り当てられたリソースの値を確認する方法は４つあります。

１．［コントロールパネル］→［SCSIアダプタ］→［プロパティ］→［リソース］タブ
２．［コントロールパネル］→［PCカード］→［プロパティ］→［リソース］タブ
３．［プログラム］→［管理ツール（共通）］→［Windows NT 診断プログラム］→［リソース］タブ
４．ここで説明されている「RESEDIT」

上記の１．２．で表示される値は実際と異なることがあります。
３．４．の方法で確認することをお勧めします。

≪RESEDIT≫の使用方法

注意

- RESEDITを使用する時は、Windows NT 4.0にAdministratorでログオンしてください。Administratorでログオンしていないと、RESEDITが正常に動作しません。
  RESEDITによる変更の結果は他の権限でログオンし直した場合にも反映されます。
- RESEDITを起動するときは必ずPCカードを挿入した状態で起動してください。
  PCカードを挿入していないと、リソースの設定欄に値が表示されません。

1 「CBIDEⅡシリーズサポートソフト」をフロッピーディスクドライブに挿入します。

2 以下の順にダブルクリックします。
[マイコンピュータ]→[3.5インチFD]→[WINNT40]→[Resedit.exe]

3 競合している「リソースの種類」をクリックします。
競合しているリソースの種類（IRQまたはI/Oポート）をクリックします。

4 リソースの設定変更画面を表示させます。
［自動設定］がチェックされていた場合はチェックを外し、
［設定の変更］ボタンをクリックします。



5 **［▼］ボタンをクリックし、リソースの値を選択します。**

6 **［OK］ボタンをクリックします。**

7 **設定を保存するかどうかを確認する画面が表示されますので、［OK］ボタンをクリックしてください。**

8 **再起動するかどうかを確認する画面が表示されますので、［OK］ボタンをクリックしてください。**

注意

≪[オプション]タブ≫は、本製品では使用しません。

ACアダプタなしで使う

本製品は、付属のACアダプタを接続せずに使用することもできます。
（パソコン本体から電源供給を受けます。）

ただし、ACアダプタを接続しない場合制限があります。以下の表でご確認ください。
（一部のパソコンでは、電源供給能力が低いため、動作しない場合があります。その場合は、ACアダプタを接続してお使いください。）

	ACアダプタを接続する場合	ACアダプタを接続しない場合
本製品の転送モード	高速モード ・8倍速DVD-ROMリード （最大10.8MB/秒） ・24倍速CD-ROMリード （最大3.6MB/秒）	低速モード ・2.5倍速DVD-ROMリード （最大3.4MB/秒） ・12倍速CD-ROMリード （最大1.8MB/秒）
PCカードのモード	「CardBusモード」または 「16bitモード」を設定 ※	「16bitモード」のみ
パワーランプ色	緑	オレンジ
DVDビデオ再生	CradBusモードは可 16bitモードは不可	不可

※使用できるモードについては【使うモードを決める】（9ページ）をご覧ください。
（Windows NT 4.0は「16bitモード」のみです。）

Windows Me/98/95での設定手順 → 86ページ

Windows 2000での設定手順 → 87ページ

Windows NT 4.0での設定手順 → 88ページ

●Windows Me/98/95での設定手順

ここでは、Windows Me/98/95でACアダプタを接続せずに本製品を使用する方法を説明します。

はじめて本製品を使用する場合

【使うモードを決める】(9ページ)からご覧ください。

既にPCカードを「CardBusモード」で使用している場合

①PCカードを取り出します。
②ドライバを削除します。(89ページ)
③【使うモードを決める】(9ページ)からご覧ください。
（16bitモードに設定してください。）

既にPCカードを「16bitモード」で使用している場合

①PCカードを取り出します。
②本製品のPowerスイッチをOFFにし、ACアダプタを取り外します。
③本製品のPowerスイッチをONにします。
④再度PCカードを挿入すれば使用できます。

●Windows 2000での設定手順

ここでは、Windows 2000でACアダプタを接続せずに本製品を使用する方法を説明します。

はじめて本製品を使用する場合

【使うモードを決める】(9ページ)からご覧ください。

既にPCカードを「CardBusモード」で使用している場合

①PCカードを取り出します。
②「サポートソフト」を削除します。(89ページ)
③【使うモードを決める】(9ページ)からご覧ください。
（16bitモードに設定してください。）

既にPCカードを「16bitモード」で使用している場合

①パソコンを終了し、パソコンの電源を切ります。
②PCカードを取り出します。
③本製品のPowerスイッチをOFFにし、ACアダプタを取り外します。
④本製品のPowerスイッチをONにします。
⑤パソコンの電源を入れ、再度PCカードを挿入すれば使用できます。

●Windows NT 4.0での設定手順

ここでは、Windows NT 4.0でACアダプタを接続せずに本製品を使用する方法を説明します。

はじめて本製品を使用する場合

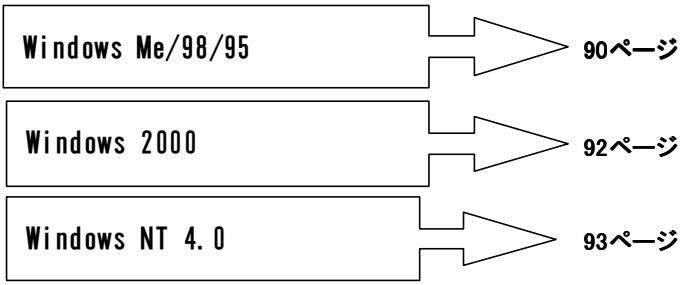
【使うモードを決める】(9ページ)からご覧ください。

既にPCカードを「16bitモード」で使用している場合

①パソコンを終了し、パソコンの電源を切ります。
②PCカードを取り出します。
③本製品のPowerスイッチをOFFにし、ACアダプタを取り外します。
④本製品のPowerスイッチをONにします。
⑤パソコンの電源を入れ、再度PCカードを挿入すれば使用できます。

ドライバを削除する

本製品を使わなくなったり、「CBIDEⅡシリーズサポートソフト」を再インストールする場合は、インストールされた情報を削除（アンインストール）する必要があります。
ご使用のOSに合ったページをご覧ください。



●Windows Me/98/95

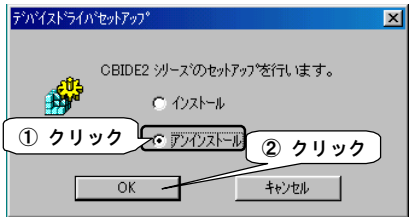
1 **PCカードをパソコンのPCカードスロットから抜きます。**

2 **「DVDビデオスターターキット」CD-ROMを本製品以外のCD-ROMドライブにセットします。**

3 **自動で画面が表示されますので、[CBIDEⅡシリーズ]をクリックします。**
自動で表示されない場合は、CD-ROMドライブの[Autorun]をダブルクリックしてください。



4 **「アンインストール」をクリックし、[OK]ボタンをクリックします。**



注意

必ずPCカードを取り外してください。

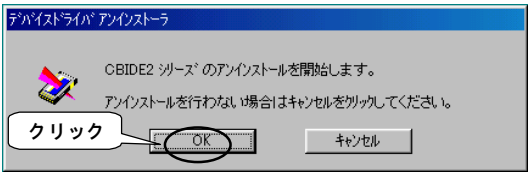
注意

CD-ROMドライブが無い場合は…
手順**2**で「CBIDEⅡシリーズサポートソフト」FDをセットします。
手順**3**で[マイコンピュータ]→[3.5インチFD]→[Win9x]→[Ddsetup]を順にダブルクリックします。

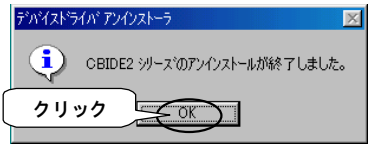


③手順**4**へお進みください。

5 ［OK］ボタンをクリックします。

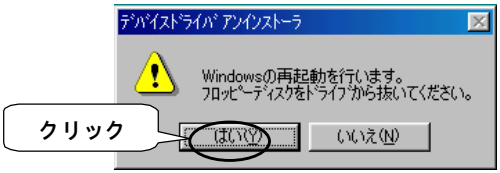


6 ［OK］ボタンをクリックします。



7 「CBIDE Ⅱ シリーズサポートソフト」を抜きます。

8 ［はい］ボタンをクリックします。



次回のパソコン起動時より、本製品のPCカードが使えなくなります。

●Windows 2000

1 **PCカードが挿入されている状態でパソコンを起動します。**

2 **［デバイスマネージャ］を起動します。**
［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内の［システム］→[ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャ]ボタンをダブルクリックします。

3 **［CBIDE2 Series DuoATA Card(XXX)］をクリックします。**
「SCSIとRAIDコントローラ」の下にあります。

4 **右クリックして表示されたメニューから［削除］をクリックします。**

5 **PCカードを抜き、パソコンを再起動します。**

次回のパソコン起動時より、本製品のPCカードが使えなくなります。

注意

CardBusモードでご使用の場合

81ページでそれぞれのスロットに対してインストールを行った場合は、それぞれのスロットに対して削除を行ってください。

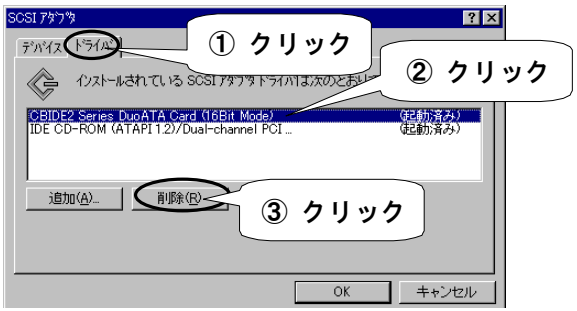
●Windows NT 4.0

1 **［SCSIアダプタ］画面を表示させます。**

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内の［SCSIアダプタ］アイコンをダブルクリックします。

2 **本製品のドライバを削除します。**

［ドライバ］タブ内の［CBIDE2 Series DuoATA Card(16Bit Mode)］をクリックし、［削除］ボタンをクリックします。



3 **［はい］ボタンをクリックします。**



4 **［OK］ボタンをクリックし、［SCSIアダプタ］を閉じます。**

次回のパソコン起動時より、本製品のPCカードが使えなくなります。

仕様

●DVD-ROMドライブ

インターフェイス仕様	i・CONNECT
ディスクローディング方式	トレイタイプ パワーイジェクト/手動挿入方式
データバッファサイズ	512KB
データ転送速度（最大）	**・ACアダプタを接続した場合** 8倍速DVD-ROMリード:10.8MB/秒 24倍速CD-ROMリード:3.6MB/秒 **・ACアダプタを外した場合** 2.5倍速DVD-ROMリード:3.4MB/秒 12倍速CD-ROMリード:1.8MB/秒
平均アクセスタイム	DVD-ROM：90ms CD-ROM ：85ms
対応フォーマット（Read Only）※	DVD-ROM、DVD-RAM(2.6GB TypeⅡ,4.7GB TypeⅡ)、 DVD-R(3.95GB,4.7GB,Write at Onceのみ)、 DVDビデオ、CD-ROM（Mode1,Mode2）、CD-ROM XA、 CD-I、Photo CDﾏﾙﾁｾｯｼｮﾝ、ビデオCD、音楽CD、 CD TEXT、音声付きCD-ROM、CD Extra、CD-R/RW
アナログライン出力	0.7Vrms（Typical、10KΩ負荷）
使用温度範囲(℃)	+5℃～35℃
使用湿度範囲(%)	20%～85%（結露なきこと）
電源	DC 5.0V 1.7A
外形寸法（突起部を除く）	140.0(W)×150.0(D)×20(H)mm
質量	約310g

※ DVD-RWはPowerDVD VR-Xで読み込み可

●PCカード(CBIDE ⅡA)

注意

添付のPCカード「CBIDE IIA」は、本製品専用です。
他の製品に使用すると使用した機器を破損する恐れがありますので、絶対に使用しないでください。

モード	CardBusモード	16bitモード
カード仕様	PCカード規格準拠	
選択可能I/Oアドレス	任意の連続した32バイト	180h～187h, 386h～387h 190h～197h, 396h～397h 1A0h～1A7h, 3A6h～3A7h
占有メモリ	任意の連続した 4Kバイトメモリ空間	任意の連続した 4Kバイトメモリ空間※
選択可能IRQ	任意の割り込み(ただしWindows98/95のときのみ使用)	
入力電源	+3.3V±5%	+5V±5%
消費電流	MAX 40mA	MAX 10mA
外形寸法	85.6 × 54.0 × 5 mm (TYPEⅡ規格準拠)	
質量	30g	

※ 32ビットメモリマップ転送を使用する場合は、128Kバイトのメモリ空間をオープンしなければいけません。

●i・CONNECTについて

本製品は「i･CONNECT ™ 」に対応しています。
「i･CONNECT」とは、内蔵型の各種IDE/ATAPIドライブを外付型デバイスとして幅広く活用するためにアイ・オーが考案した接続用コネクタ規格です。
「i･CONNECT」搭載ドライブはマルチインターフェイス対応です。
コンバータケーブルにより「USB」や「IEEE1394(FireWire, i.LINK)」ドライブ、Duo ATA PCカードでそのまま「IDE/ATAPI」ドライブとしても使用できます。

iCONNECT
IDE/ATAPI 36pin CONNECTOR

お問い合わせ先

PowerDVD VR-X

PowerDVD™ VR-X　「PowerDVD VR-X」のお問い合わせ

●お問い合わせ先　　サイバーリンク株式会社

ユーザーサポートページURL	http://www.cli.co.jp/support/
E-mail	support@cli.co.jp
TEL	03-3662-8076
FAX	03-3662-8009
受付時間	10:00～13:00、14:00～17:00 **月～金曜日(祝祭日を除く)**

インターネット環境をお持ちでない方は、下記の必要事項をご記入、もしくは
ご確認いただき、サイバーリンク㈱までFAXまたはTELにてお問い合わせください。

▼必要事項

1. 記入日
2. 氏名（ユーザー登録名）
3. TEL番号
4. FAX番号
5. 住所
6. 製品名およびソフトウェアのバージョン
7. CD-Key番号（「PowerDVD VR-Xクイックガイド」内【PowerDVD VR-Xの
   インストール】に記載されています。）
8. お使いのＰＣ環境
   - OS環境（メーカー名、製品名およびバージョン）
   - パソコン（CPU（例：Pentium Ⅲ 500）およびメモリ容量）
   - ハードウェア構成（メーカー名、製品名）
   - DVDドライブ（例：I-O DATA製、DVDP-i8A）

サイバーリンク㈱ ユーザー登録（PowerDVD VR-X用）

本製品添付の「PowerDVD VR-Xクイックガイド」をご覧になり、ユーザー登録を
行ってください。

DVD-ROMドライブ

お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
5. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
6. 現在の状態(「マイコンピュータにCD-ROMアイコンが表示されない」などの内容)。

オンライン

インターネット　**http://www.iodata.co.jp/support/**
「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを
使用してE-mailをお送りください。

郵便

住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「DVDP-i8A」係　宛

電話・FAX

電話番号	**本社　076-260-3661　東京　03-3254-1085**
電話受け付け時間	**9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)**
FAX番号	**本社　076-260-3360　東京　03-3254-9055**

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

オンライン

インターネット　**http://www.iodata.co.jp/**　→「サポート・ライブラリ」

サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「DVDP-i8A」　サービス窓口　宛
電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（【サポートセンターへのお問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●内部のデータについて

・検査の際には、内部のデータはすべて消去されてしまいます。
（厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。）
※データに関しては、弊社はいっさいの責任を負いかねます。
バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。
・弊社では、データの修復は行っておりません。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無償にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有償となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
・保証期間が終了した場合は、有償にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
・お送りいただいた後、有償修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルNO.、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
　※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
・下の内容を書いたもの
　返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
　ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
　※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、販売店へご依頼いただくか、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
　※ **原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。**
・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。
　※ただし、有償の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。
・修理品の返送日については以下の窓口にお問い合わせください。

●サービス窓口

お問い合わせの際は、ご依頼の際にメモに控えた内容をお伝えください。

電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

DVDP-i8A 取扱説明書
2001.Aug.28 95485-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

PowerDVD™ VR-X 「PowerDVD VR-X」のお問い合わせ

●お問い合わせ先　サイバーリンク株式会社

ユーザーサポートページURL	http://www.cli.co.jp/support/
E-mail	support@cli.co.jp
TEL	03-3662-8076
FAX	03-3662-8009
受付時間	10:00～13:00、14:00～17:00 月～金曜日(祝祭日を除く)